

## 第 3 章 最終処分場供用後に係る調査結果

### 第 1 節 大気質

#### 第 1 項 調査概要

最終処分場の供用に伴う施設内の粉じんの飛散状況を監視するため、調査を実施しました。

##### 1-1 調査地点

調査地点は、図 3-1-1 に示したとおり最終処分場区域内の 2 地点としました。

##### 1-2 調査項目及び調査時期

調査は浮遊粒子状物質（S PM）を対象項目とし、調査時期は表 3-1-1 に示したとおり、各季 1 日間（24 時間）実施しました。

表 3-1-1 調査項目及び調査期間

調査項目	調査年月日
浮遊粒子状物質（S PM）	平成 28 年 5 月 25 日 (0:00～24:00)
	平成 28 年 7 月 7 日 (0:00～24:00)
	平成 28 年 10 月 12 日 (0:00～24:00)
	平成 29 年 1 月 11 日 (0:00～24:00)

##### 1-3 調査方法

分析方法は表 3-1-2 に示したとおりです。

表 3-1-2 調査項目及び分析方法

測定項目	分析方法
浮遊粒子状物質（S PM）	昭和 48 年環境庁告示第 25 号 別表に示す $\beta$ 線吸収法

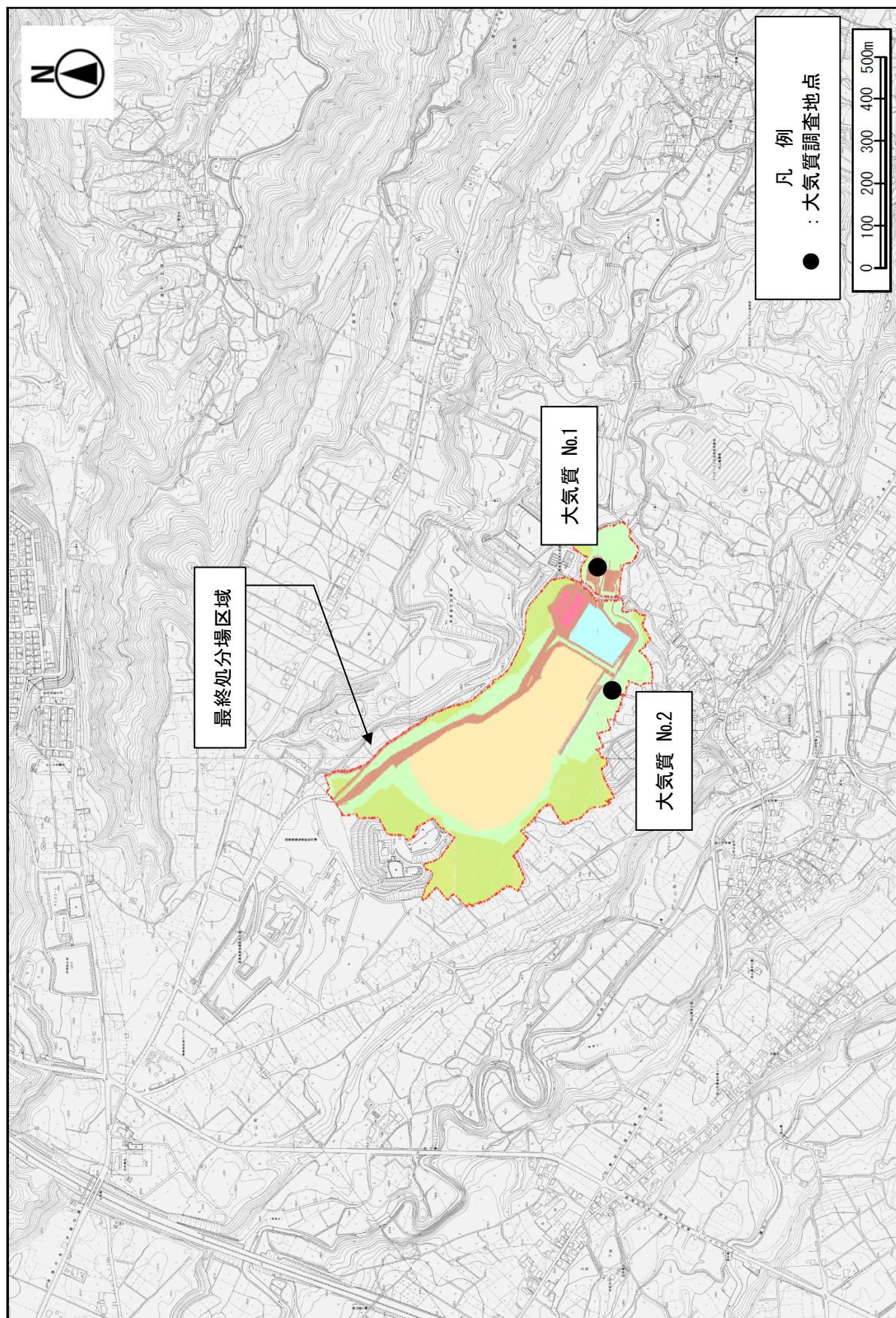


図 3-1-1 大気質（浮遊粒子状物質：SPM）調査地点

## 第2項 調査結果

調査結果は表 3-1-3 に示したとおりです。

また、測定当日の風配図は図 3-1-2 に示したとおりです。

No.1 の日平均値は  $0.005 \sim 0.026 \text{ mg/m}^3$ 、1 時間値の最大値は  $0.021 \sim 0.043 \text{ mg/m}^3$ 、No.2 の日平均値は  $0.005 \sim 0.028 \text{ mg/m}^3$ 、1 時間値の最大値は  $0.018 \sim 0.068 \text{ mg/m}^3$  であり、いずれも環境基準を下回る値でした。

表 3-1-3 浮遊粒子状物質調査結果

項 目		SPM( $\text{mg/m}^3$ )	
環境基準	1 時間値の 1 日平均値	0.10 以下	
	1 時間値	0.20 以下	
調査年月日	地 点	No.1	No.2
平成 28 年 5 月 25 日	日平均値	0.026	0.028
	1 時間値の最大値	0.043	0.068
平成 28 年 7 月 7 日	日平均値	0.012	0.007
	1 時間値の最大値	0.033	0.029
平成 28 年 10 月 12 日	日平均値	0.006	0.008
	1 時間値の最大値	0.032	0.040
平成 29 年 1 月 11 日	日平均値	0.005	0.005
	1 時間値の最大値	0.021	0.018

※「環境基準」：「大気の汚染に係る環境基準について」（昭和 48 年環告 25）

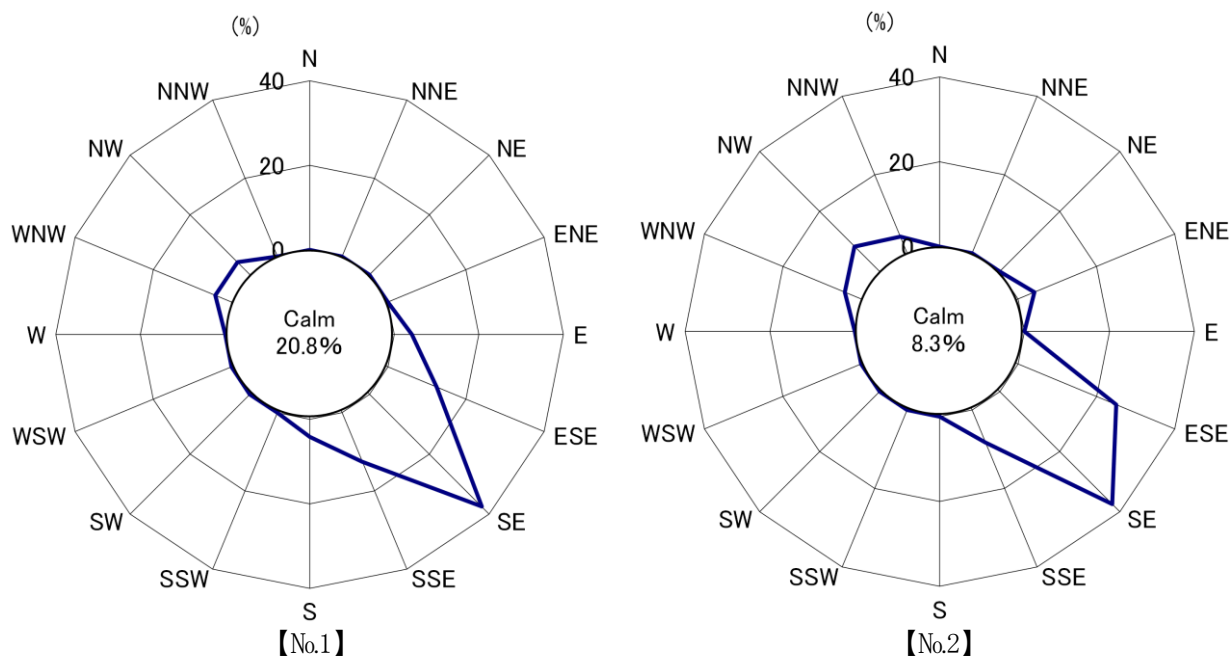
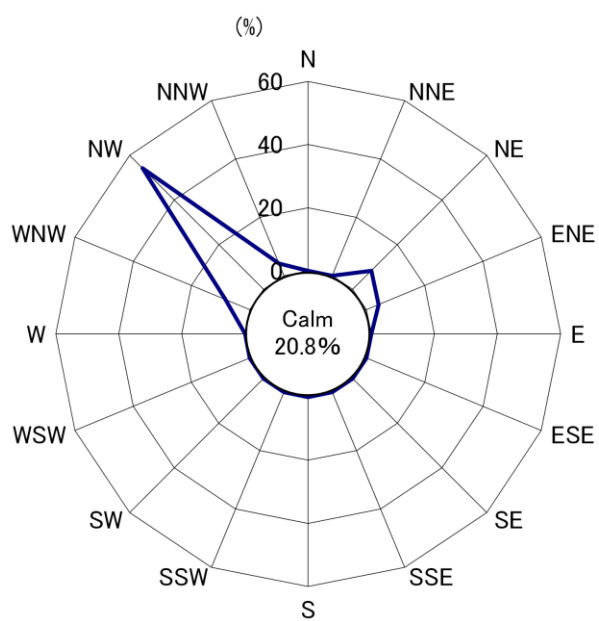
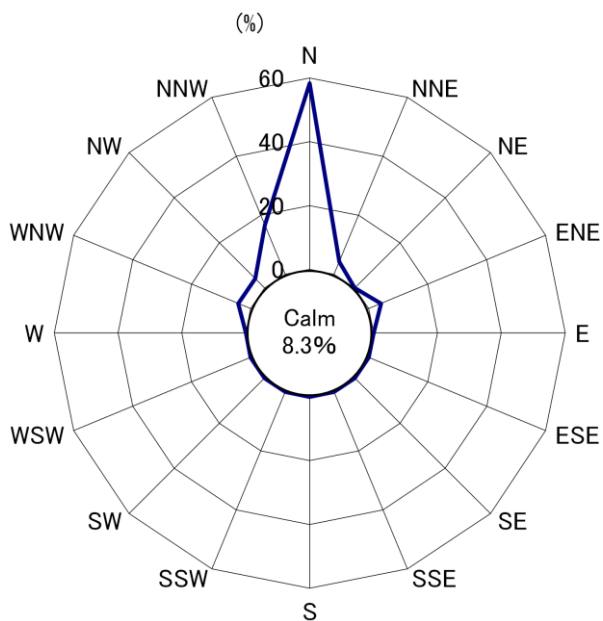


図 3-1-2(1) 測定当日の風配図（平成 28 年 5 月 25 日）

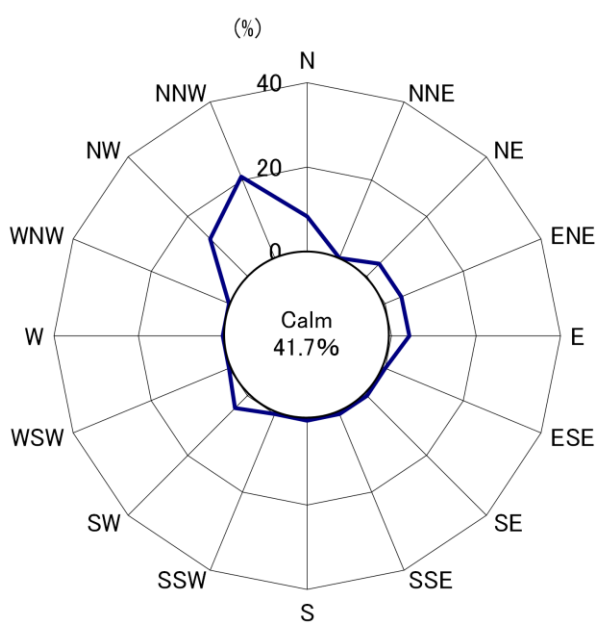


【No.1】

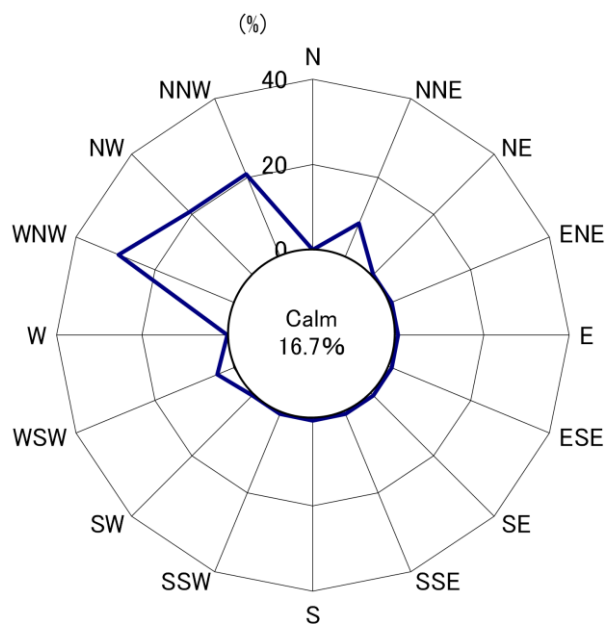


【No.2】

図 3-1-2(2) 測定当日の風配図（平成 28 年 7 月 7 日）



【No.1】



【No.2】

図 3-1-2(3) 測定当日の風配図（平成 28 年 10 月 12 日）



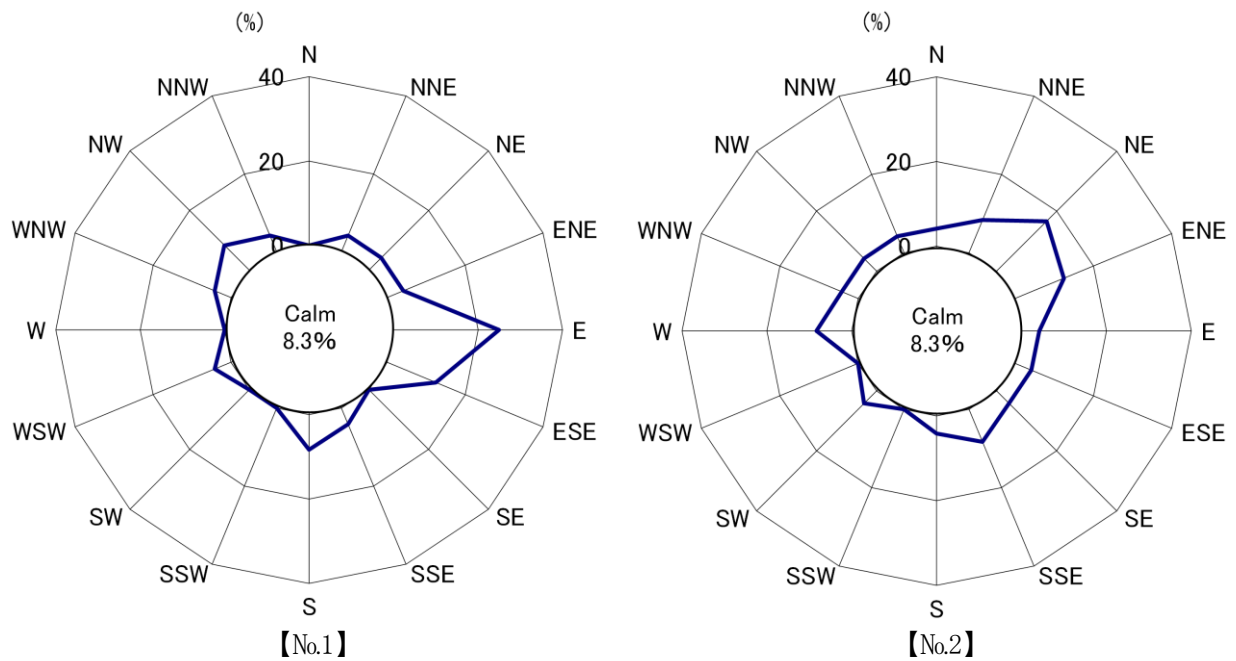


図 3-1-2(4) 測定当日の風配図（平成 29 年 1 月 11 日）

## 第 2 節 悪 臭

### 第 1 項 調査概要

最終処分場の供用に伴い、同施設からの悪臭が周辺環境に与える影響を把握するため、調査を実施しました。

#### 1-1 調査時期

調査は表 3-2-1 に示したとおり、春季から冬季にかけて 4 回実施しました。

表 3-2-1 調査時期

時 季	調査年月日
春 季	平成 28 年 5 月 23 日
夏 季	平成 28 年 7 月 14 日
秋 季	平成 28 年 10 月 24 日
冬 季	平成 29 年 1 月 18 日

#### 1-2 調査地点

調査地点は図 3-2-1 に示した最終処分場敷地境界に予め設定した 3 地点で調査を実施しました。

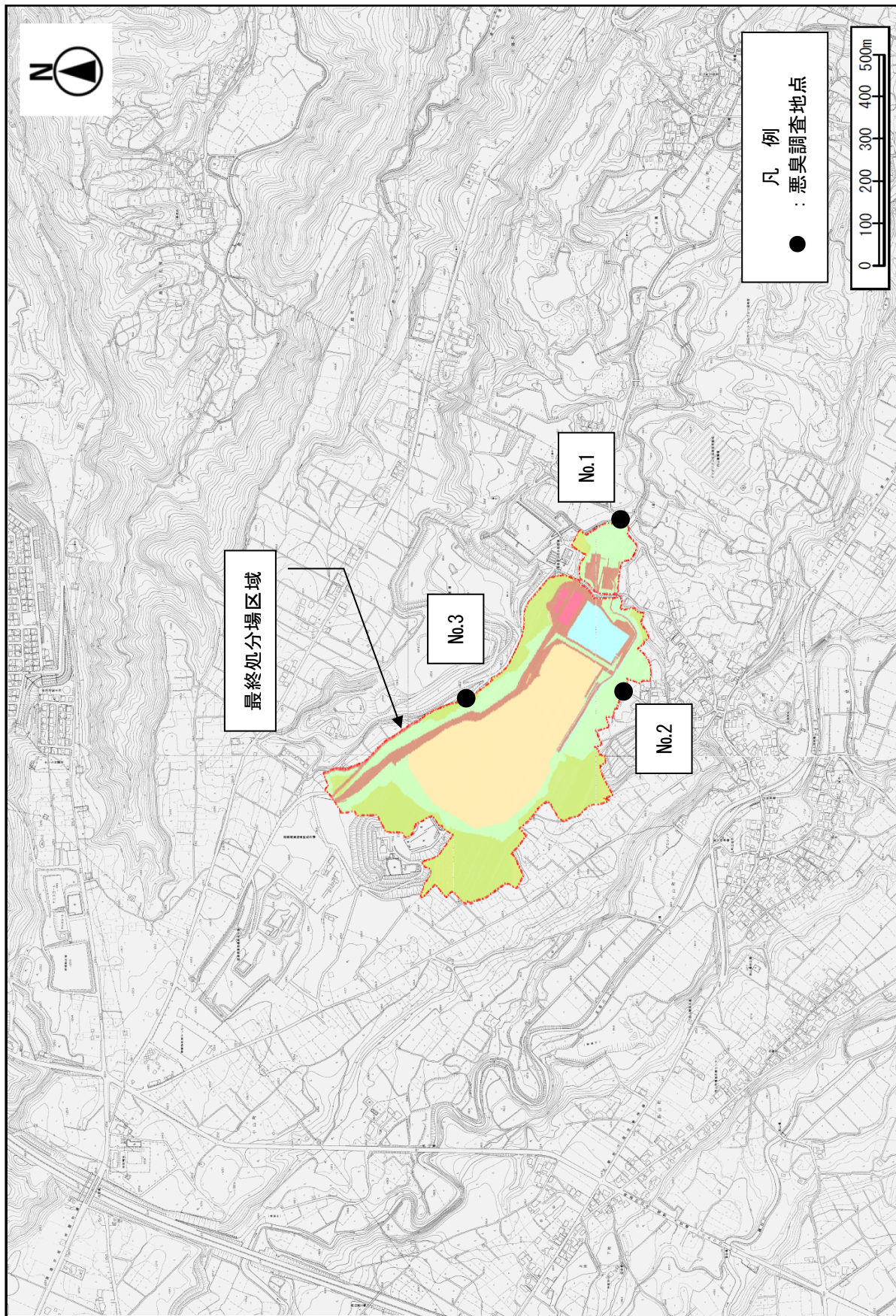


図 3-2-1 悪臭調査地点

### 1-3 調査項目及び分析方法

調査項目は悪臭防止法に定める特定悪臭物質（22 物質）、臭気指数及び気象とし、分析方法は表 3-2-2 に示したとおりです。

表 3-2-2 調査項目及び分析方法

項 目		分析方法
アンモニア		昭和47年環境庁告示第9号別表第1
メチルメルカプタン 硫化水素 硫化メチル 二硫化メチル		昭和47年環境庁告示第9号別表第2
トリメチルアミン		昭和47年環境庁告示第9号別表第3
アセトアルデヒド プロピオンアルデヒド ノルマルブチルアルデヒド イソブチルアルデヒド ノルマルバレルアルデヒド イソバレルアルデヒド		昭和47年環境庁告示第9号別表第4の1
イソブタノール		昭和47年環境庁告示第9号別表第5
酢酸エチル メチルイソブチルケトン		昭和47年環境庁告示第9号別表第6の2
トルエン スチレン キシレン		昭和47年環境庁告示第9号別表第7の2
プロピオン酸 ノルマル酪酸 ノルマル吉草酸 イソ吉草酸		昭和47年環境庁告示第9号別表第8
臭気指数		平成7年環境庁告示第63号
気 象	風 向	ビラム型風向風速計
	風 速	
	気 温	アスマン通風乾湿計
	湿 度	

## 第2項 調査結果

調査結果は表 3-2-3 に示したとおりであり、悪臭防止法に定める特定悪臭物質は検出されませんでした。

また、人の嗅覚により試験を行う臭気指数についても、各季とも全ての調査地点で 10 未満でした。

表 3-2-3(1) 悪臭調査結果（春季・夏季）

（単位：ppm、臭気指数は単位なし）

項 目	春季			夏季			排出 規制基準※
	No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3	
アンモニア	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
メチルメルカプタン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
硫化水素	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
硫化メチル	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
二硫化メチル	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009以下
トリメチルアミン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005以下
アセトアルデヒド	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
プロピオンアルデヒド	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
ノルマルブチルアルデヒド	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソブチルアルデヒド	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
ノルマルバレールアルデヒド	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソバレールアルデヒド	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.003以下
イソブタノール	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	0.9以下
酢酸エチル	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3以下
メチルイソブチルケトン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
トルエン	<1	<1	<1	<1	<1	<1	10以下
スチレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4以下
キシレン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
プロピオン酸	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03以下
ノルマル酪酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
ノルマル吉草酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0009以下
イソ吉草酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
臭気指数	<10	<10	<10	<10	<10	<10	—
気 象	天候	晴	晴	晴	晴	晴	—
	気温(℃)	31.4	34.0	32.5	36.0	32.6	—
	湿度(%)	43	36	40	52	55	—
	風向	SW	S	Calm	WNW	WNW	—
	風速(m/s)	2.0	1.3	<0.5	0.7	0.9	—

※：「排出規制基準」は悪臭防止法の規定に基づく規制地域の指定及び規制基準（平成 10 年 7 月 10 日三重県告示第 323 号）



表 3-2-3(2) 悪臭調査結果 (秋季・冬季)

(単位: ppm、臭気指数は単位なし)

項 目	秋季			冬季			排出 規制基準※
	No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3	
アンモニア	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
メチルメルカプタン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002以下
硫化水素	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
硫化メチル	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
二硫化メチル	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	0.009以下
トリメチルアミン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005以下
アセトアルデヒド	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
プロピオンアルデヒド	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.05以下
ノルマルブチルアルデヒド	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソブチルアルデヒド	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02以下
ノルマルバレールアルデヒド	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.009以下
イソバレールアルデヒド	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.003以下
イソブタノール	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	<0.09	0.9以下
酢酸エチル	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	3以下
メチルイソブチルケトン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
トルエン	<1	<1	<1	<1	<1	<1	10以下
スチレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	0.4以下
キシレン	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下
プロピオン酸	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	0.03以下
ノルマル酪酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
ノルマル吉草酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0009以下
イソ吉草酸	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.001以下
臭気指数	<10	<10	<10	<10	<10	<10	—
気 象	天候	晴	晴	晴	晴	晴	—
	気温(℃)	23.2	25.1	21.6	12.7	13.3	—
	湿度(%)	38	33	41	32	31	—
	風向	WNW	Calm	Calm	N	Calm	—
	風速(m/s)	1.0	<0.5	<0.5	0.5	<0.5	—

※:「排出規制基準」は悪臭防止法の規定に基づく規制地域の指定及び規制基準(平成10年7月10日三重県告示第323号)

### 第 3 節 環境騒音

#### 第 1 項 調査概要

最終処分場の供用に伴う騒音の影響を把握するため、最終処分場区域周辺で環境騒音の調査を実施しました。

##### 1-1 調査時期

調査は表 3-3-1 に示したとおり、春季から冬季にかけて 4 回実施しました。

また、測定時間は 24 時間測定としました。

表 3-3-1 調査時期

時 季	調査年月日
春 季	平成 28 年 5 月 23 日～24 日
夏 季	平成 28 年 7 月 14 日～15 日
秋 季	平成 28 年 10 月 24 日～25 日
冬 季	平成 29 年 1 月 10 日～11 日

##### 1-2 調査地点

調査地点は図 3-3-1 に示した最終処分場区域周辺の 2 地点としました。

##### 1-3 調査項目及び調査方法

調査項目は環境騒音とし、調査方法は「騒音に係る環境基準について」（平成 10 年 環境庁告示第 64 号）に準じて実施しました。

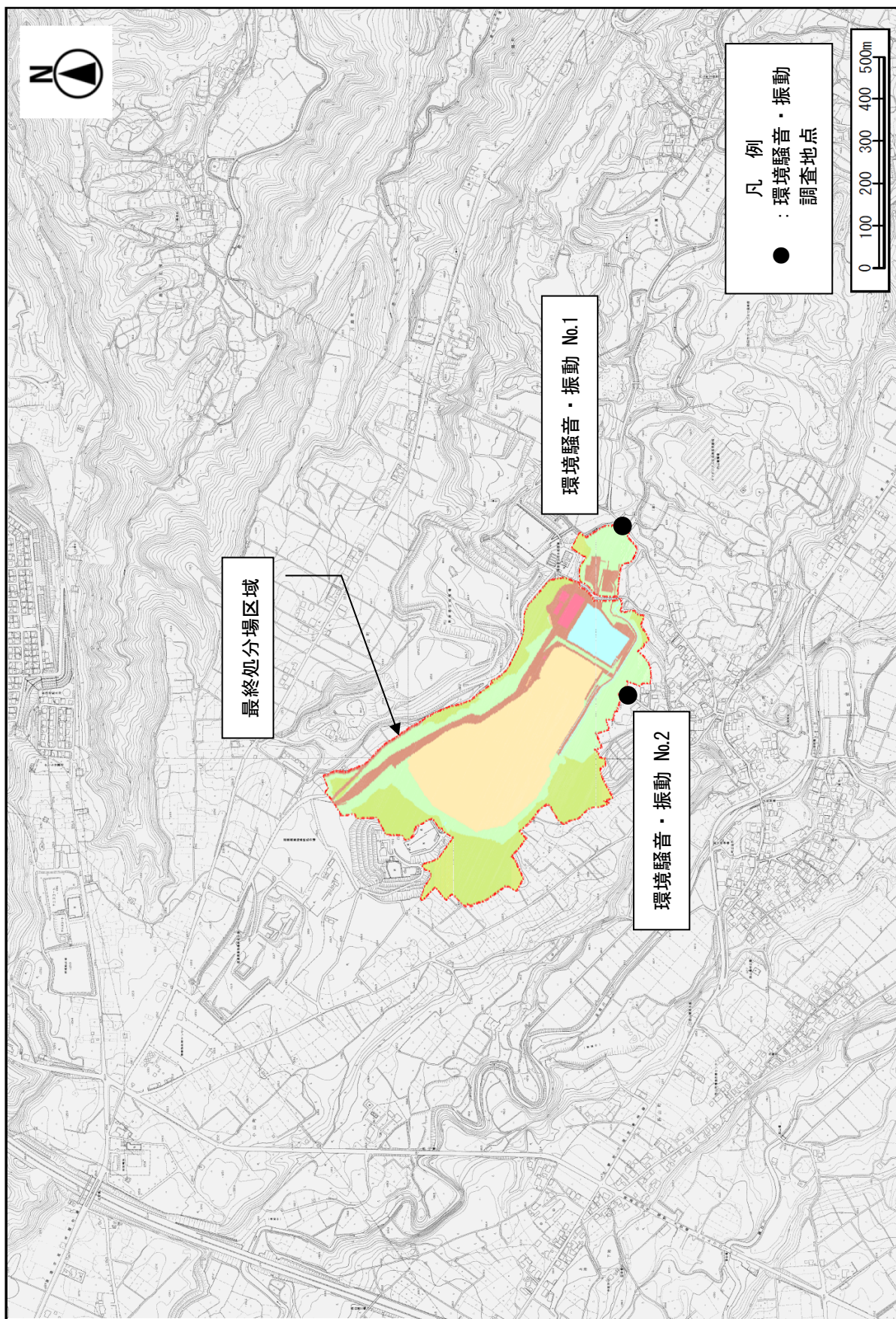


図 3-3-1 環境騒音・環境振動調査地点

## 第2項 調査結果

調査結果は表 3-3-2 に示したとおりであり、No.1 の 6 時から 22 時までの昼間の基準時間帯における等価騒音レベルは 45～66dB、22 時から 6 時までの夜間の基準時間帯における等価騒音レベルは 40～57dB、同じく No.2 の昼間の等価騒音レベルは 43～53dB、夜間の等価騒音レベルは 37～56dB でした。

なお、春季の夜間でやや高い値が見られましたが、これはカエルの鳴き声によるものでした。また、夏季の No.1 の昼間・夜間、No.2 の夜間でもやや高い値がみられましたが、これらはそれぞれセミの鳴き声、虫の鳴き声によるものでした。

表 3-3-2(1) 環境騒音調査結果（春季・夏季）

単位：dB(A)

測定時間	春季				夏季			
	No.1		No.2		No.1		No.2	
	$L_{Aeq-1h}$	$L_{50}^{※}$	$L_{Aeq-1h}$	$L_{50}^{※}$	$L_{Aeq-1h}$	$L_{50}^{※}$	$L_{Aeq-1h}$	$L_{50}^{※}$
12:00 ～	45	42	44	38	67	67	44	42
13:00 ～	43	41	45	42	67	67	45	43
14:00 ～	48	42	46	42	67	67	45	44
15:00 ～	46	42	48	41	68	67	45	44
16:00 ～	46	42	50	40	67	66	47	45
17:00 ～	46	43	50	40	54	53	48	48
18:00 ～	44	43	49	40	66	65	49	49
19:00 ～	47	45	55	48	51	49	49	49
20:00 ～	53	51	60	59	52	51	53	51
21:00 ～	54	53	60	60	54	54	55	53
22:00 ～	55	54	61	61	55	54	55	52
23:00 ～	54	53	59	58	54	54	55	52
0:00 ～	51	50	57	57	56	55	58	57
1:00 ～	51	49	54	51	54	54	56	54
2:00 ～	50	48	48	44	56	55	53	52
3:00 ～	48	46	43	41	52	51	53	53
4:00 ～	48	46	44	42	50	50	53	53
5:00 ～	48	43	45	40	63	62	52	52
6:00 ～	48	43	44	40	67	67	52	51
7:00 ～	48	43	44	40	67	66	50	50
8:00 ～	49	42	46	42	67	65	50	50
9:00 ～	47	42	45	42	69	68	50	48
10:00 ～	45	41	48	43	67	66	48	48
11:00 ～	47	43	47	44	67	63	48	46
昼 間	48	—	53	—	66	—	50	—
夜 間	51	—	56	—	57	—	55	—

注：※は参考値（現在、環境基準は  $L_{Aeq}$  で評価するため、 $L_{50}$  は参考値として示した。）



表 3-3-2(2) 環境騒音調査結果（秋季・冬季）

単位：dB(A)

測定時間	秋季				冬季			
	No.1		No.2		No.1		No.2	
	$L_{Aeq-1h}$	$L_{50}^{※}$	$L_{Aeq-1h}$	$L_{50}^{※}$	$L_{Aeq-1h}$	$L_{50}^{※}$	$L_{Aeq-1h}$	$L_{50}^{※}$
12:00 ～	43	40	41	37	45	42	43	38
13:00 ～	45	42	42	40	47	44	44	43
14:00 ～	46	43	44	42	45	44	46	44
15:00 ～	46	43	48	44	45	43	43	42
16:00 ～	46	43	45	44	46	42	42	39
17:00 ～	47	44	43	42	42	40	40	37
18:00 ～	45	44	42	42	44	41	40	39
19:00 ～	45	42	41	41	43	41	41	40
20:00 ～	44	43	41	41	42	41	41	40
21:00 ～	43	42	40	40	41	41	39	39
22:00 ～	43	42	40	39	40	40	39	38
23:00 ～	43	42	41	40	41	41	40	39
0:00 ～	42	42	39	39	40	39	37	37
1:00 ～	42	42	40	40	39	39	37	37
2:00 ～	42	42	41	40	39	39	36	36
3:00 ～	43	42	39	39	40	39	37	37
4:00 ～	42	42	39	39	41	39	36	35
5:00 ～	41	41	39	39	39	39	36	36
6:00 ～	44	42	43	41	43	40	39	38
7:00 ～	47	44	42	41	44	40	42	38
8:00 ～	47	44	46	43	47	41	43	41
9:00 ～	49	44	44	43	48	43	43	41
10:00 ～	49	45	46	44	48	45	45	43
11:00 ～	45	44	45	44	48	44	45	43
昼 間	46	—	44	—	45	—	43	—
夜 間	42	—	40	—	40	—	37	—

注：※は参考値（現在、環境基準は  $L_{Aeq}$  で評価するため、 $L_{50}$  は参考値として示した。）

## 第4節 環境振動

### 第1項 調査概要

最終処分場の供用に伴う振動の影響を把握するため、最終処分場区域周辺で環境振動の調査を実施しました。

#### 1-1 調査時期

調査は表 3-4-1 に示したとおり、春季から冬季にかけて 4 回実施しました。  
また、測定時間は 24 時間測定としました。

表 3-4-1 調査時期

時 季	調査年月日
春 季	平成 28 年 5 月 23 日～24 日
夏 季	平成 28 年 7 月 14 日～15 日
秋 季	平成 28 年 10 月 24 日～25 日
冬 季	平成 29 年 1 月 10 日～11 日

#### 1-2 調査地点

調査地点は前掲の図 3-3-1 に示したとおり、最終処分場区域周辺の 2 地点としました。

#### 1-3 調査項目及び調査方法

調査項目は環境振動とし、調査方法は「JIS Z 8735-1981」により実施しました。

### 第2項 調査結果

振動レベルの調査結果は表 3-4-2 に示したとおり、すべての調査時期、調査地点及び調査時間帯で測定機器の保証最低値（30dB）未満でした。

表 3-4-2 環境振動調査結果

単位：dB(Z)

時 季	地点	No.1	No.2	時 季	地点	No.1	No.2
	測定時間	$L_{10}$			測定時間	$L_{10}$	
春 季	12:00 ～	30未満	30未満	秋 季	12:00 ～	30未満	30未満
	13:00 ～	30未満	30未満		13:00 ～	30未満	30未満
	14:00 ～	30未満	30未満		14:00 ～	30未満	30未満
	15:00 ～	30未満	30未満		15:00 ～	30未満	30未満
	16:00 ～	30未満	30未満		16:00 ～	30未満	30未満
	17:00 ～	30未満	30未満		17:00 ～	30未満	30未満
	18:00 ～	30未満	30未満		18:00 ～	30未満	30未満
	19:00 ～	30未満	30未満		19:00 ～	30未満	30未満
	20:00 ～	30未満	30未満		20:00 ～	30未満	30未満
	21:00 ～	30未満	30未満		21:00 ～	30未満	30未満
	22:00 ～	30未満	30未満		22:00 ～	30未満	30未満
	23:00 ～	30未満	30未満		23:00 ～	30未満	30未満
	0:00 ～	30未満	30未満		0:00 ～	30未満	30未満
	1:00 ～	30未満	30未満		1:00 ～	30未満	30未満
	2:00 ～	30未満	30未満		2:00 ～	30未満	30未満
	3:00 ～	30未満	30未満		3:00 ～	30未満	30未満
	4:00 ～	30未満	30未満		4:00 ～	30未満	30未満
	5:00 ～	30未満	30未満		5:00 ～	30未満	30未満
	6:00 ～	30未満	30未満		6:00 ～	30未満	30未満
	7:00 ～	30未満	30未満		7:00 ～	30未満	30未満
	8:00 ～	30未満	30未満		8:00 ～	30未満	30未満
	9:00 ～	30未満	30未満		9:00 ～	30未満	30未満
	10:00 ～	30未満	30未満		10:00 ～	30未満	30未満
	11:00 ～	30未満	30未満		11:00 ～	30未満	30未満
夏 季	12:00 ～	30未満	30未満	冬 季	12:00 ～	30未満	30未満
	13:00 ～	30未満	30未満		13:00 ～	30未満	30未満
	14:00 ～	30未満	30未満		14:00 ～	30未満	30未満
	15:00 ～	30未満	30未満		15:00 ～	30未満	30未満
	16:00 ～	30未満	30未満		16:00 ～	30未満	30未満
	17:00 ～	30未満	30未満		17:00 ～	30未満	30未満
	18:00 ～	30未満	30未満		18:00 ～	30未満	30未満
	19:00 ～	30未満	30未満		19:00 ～	30未満	30未満
	20:00 ～	30未満	30未満		20:00 ～	30未満	30未満
	21:00 ～	30未満	30未満		21:00 ～	30未満	30未満
	22:00 ～	30未満	30未満		22:00 ～	30未満	30未満
	23:00 ～	30未満	30未満		23:00 ～	30未満	30未満
	0:00 ～	30未満	30未満		0:00 ～	30未満	30未満
	1:00 ～	30未満	30未満		1:00 ～	30未満	30未満
	2:00 ～	30未満	30未満		2:00 ～	30未満	30未満
	3:00 ～	30未満	30未満		3:00 ～	30未満	30未満
	4:00 ～	30未満	30未満		4:00 ～	30未満	30未満
	5:00 ～	30未満	30未満		5:00 ～	30未満	30未満
	6:00 ～	30未満	30未満		6:00 ～	30未満	30未満
	7:00 ～	30未満	30未満		7:00 ～	30未満	30未満
	8:00 ～	30未満	30未満		8:00 ～	30未満	30未満
	9:00 ～	30未満	30未満		9:00 ～	30未満	30未満
	10:00 ～	30未満	30未満		10:00 ～	30未満	30未満
	11:00 ～	30未満	30未満		11:00 ～	30未満	30未満

注：調査地点は前掲の図 3-3-1 参照

## 第5節 河川水の水質

### 第1項 調査概要

最終処分場区域を流域に含む天白川の水質の状況を把握するため、調査を実施しました。

#### 1-1 調査地点

調査地点は図 3-5-1 に示したとおり、最終処分場処理水の放流河川である天白川において4地点（No.1～4）を設定しました。

#### 1-2 調査時期

調査のうち、生活環境項目等についてはNo.1、2、4で4月から3月まで毎月1回の計12回、No.3で各季1回の計4回実施しました。健康項目等についてはNo.1、2、4で各季1回の計4回実施しました。

また、環境ホルモンのうち、ダイオキシン類についてはNo.1、2、3、4で夏季・冬季に1回、その他の項目はNo.1、2、4で冬季に1回実施しました。

調査年月日・調査項目及び調査地点は表 3-5-1 に示したとおりです。

表 3-5-1 調査年月日・調査項目及び調査地点

調査年月日		調査項目			
		生活環境項目等	健康項目等	環境ホルモン	
				ダイオキシン類	その他の項目
平成 28 年	4 月 19 日	No.1、2、4	No.1、2、4	—	—
	5 月 23 日	No.1、2、3、4	—	—	—
	6 月 7 日	No.1、2、4	—	—	—
	7 月 8 日	No.1、2、4	No.1、2、4	No.1、2、3、4	—
	8 月 3 日	No.1、2、3、4	—	—	—
	9 月 12 日	No.1、2、4	—	—	—
	10 月 21 日	No.1、2、4	No.1、2、4	—	—
	11 月 2 日	No.1、2、3、4	—	—	—
	12 月 12 日	No.1、2、4	—	—	—
平成 29 年	1 月 6 日	No.1、2、4	No.1、2、4	No.1、2、3、4	No.1、2、4
	2 月 1 日	No.1、2、3、4	—	—	—
	3 月 14 日	No.1、2、4	—	—	—



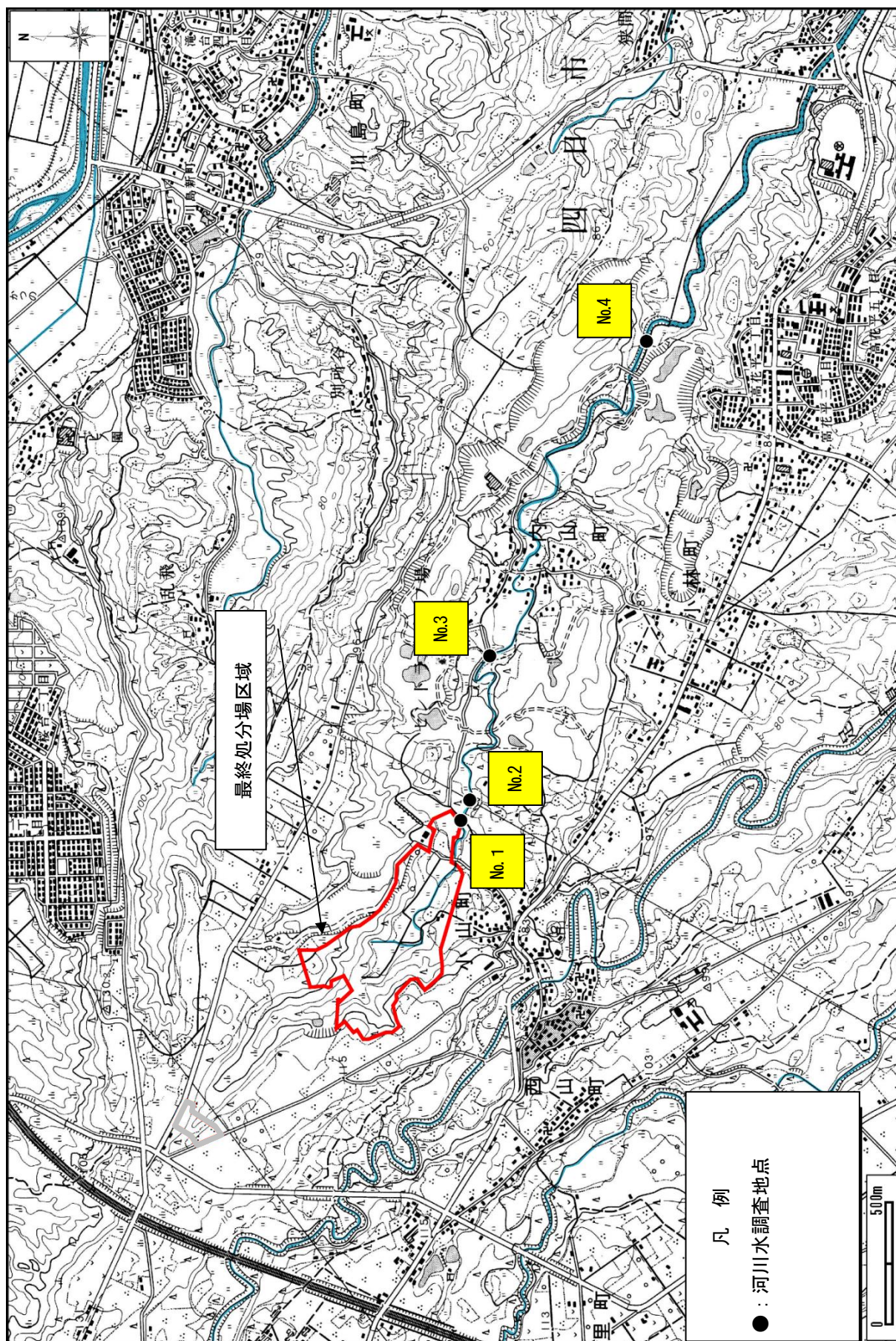


図 3-5-1 河川水調査地点

### 1-3 調査項目及び分析方法

調査項目は外観、気温、水温、流量の他、水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）、化学的酸素要求量（COD）等の生活環境項目等6項目、カドミウム、鉛等の健康項目等15項目及びダイオキシン類を含む環境ホルモン8項目について調査を行いました。

調査項目及び分析方法は表3-5-2に示したとおりです。

表 3-5-2 調査項目及び分析方法

項 目		分析方法
外 観		JIS K 0102 8
気 温		JIS K 0102 7.1
水 温		JIS K 0102 7.2
流 量		JIS K 0094 8
生活環境項目等	水素イオン濃度（pH）	JIS K 0102 12.1
	生物化学的酸素要求量（BOD）	JIS K 0102 21 及び 32.3
	化学的酸素要求量（COD）	JIS K 0102 17
	浮遊物質（SS）	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 9
	全窒素（T-N）	JIS K 0102 45.6
	全 磷（T-P）	JIS K 0102 46.3.4
健康項目等	カドミウム	JIS K 0102 55.4
	鉛	JIS K 0102 54.3
	砒 素	JIS K 0102 61.3
	フェノール類	JIS K 0102 28.1
	銅	JIS K 0102 52.4
	亜 鉛	JIS K 0102 53.3
	溶解性鉄	JIS K 0102 57.4
	溶解性マンガン	JIS K 0102 56.4
	クロム含有量	JIS K 0102 65.1.4
	ふっ素	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 6
	n-ヘキサン抽出物質	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 13
	大腸菌群数(MPN)	昭和 46 年環境庁告示第 59 号別表 2
	1,4-ジオキサン	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 7
	硫酸イオン	JIS K 0102 41.3
	硬度	JIS K 0101 15.1
環境ホルモン	ダイオキシン類	平成 11 年環境庁告示第 68 号
	ビスフェノールA	「外因性内分泌攪乱化学物質調査暫定マニュアル」（平成 10 年 10 月）に準拠
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	
	フタル酸ジ-n-ブチル	
	フタル酸ブチルベンジル	
	フタル酸ジシクロヘキシル	
	フタル酸ジエチル	
	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	



## 第2項 調査結果

### 2-1 生活環境項目等、健康項目等

調査結果のうち、主な項目について表 3-5-3 に示しました。調査結果の詳細は表 3-5-4 に示したとおりです。

天白川には、河川の環境基準の類型指定はありませんが、農業用水として利水されていることから、図 3-5-2～4 に示したとおり主な項目について農業用水基準と比較しました。

その結果、pH は、No.1 では 12 回のうち 7 回が、No.2 では 12 回のうち 9 回が、No.3 では 4 回のうち全てが、No.4 では 12 回のうち 7 回が基準値を上回る状況でした。T-N は、4 地点とも全ての調査月において基準値を上回る状況でした。その他の項目については、全て同基準を満足していました。

表 3-5-3 主な項目の調査結果

	単位	No.1	No.2	No.3(内山町地内)	No.4(八王子町地内)
pH	—	7.6(7.1～7.8)	7.8(7.5～8.3)	7.8(7.7～7.8)	7.6(7.3～8.0)
BOD	mg-O/L	0.7(<0.5～1.1)	1.0(<0.5～5.0)	1.2(<0.5～2.7)	0.7(<0.5～1.6)
COD	mg-O/L	2.1(1.7～3.0)	2.9(1.5～5.5)	3.2(2.8～3.7)	2.7(1.9～3.2)
SS	mg/L	2.2(<1.0～9.1)	1.7(<1.0～3.1)	1.0(<1.0～1.1)	1.6(<1.0～3.1)
T-N	mg-N/L	8.0(6.8～9.7)	8.7(6.8～13)	8.9(7.6～12)	6.1(5.1～7.6)
T-P	mg-P/L	0.025 (0.014～0.048)	0.027 (0.012～0.048)	0.023 (0.013～0.034)	0.035 (0.025～0.047)

注1：表中の数字は「平均値（最小値～最大値）」を示す。

注2：No.3 は春季（5月）・夏季（8月）・秋季（11月）・冬季（2月）の結果。

表 3-5-4(1) 水質調査結果 (No.1)

項目名		単位	4月19日	5月23日	6月7日	7月8日	8月3日	9月12日	10月21日	11月2日	12月12日	1月6日	2月1日	3月14日	農業用水基準
外観			殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	
気温		℃	19.5	29.0	23.0	26.5	33.5	28.5	22.5	15.5	9.0	9.2	8.5	10.5	
水温		℃	16.5	20.3	19.2	21.8	23.0	23.0	18.5	15.0	10.5	10.0	9.2	12.1	
流量		m <sup>3</sup> /分	2.5	2.3	2.7	2.9	3.2	3.7	3.2	2.6	2.8	3.0	1.9	2.5	
生活環境項目等	p H		7.7	7.7	7.6	7.5	7.8	7.6	7.7	7.6	7.5	7.5	7.5	7.1	6.0～7.5
	B O D	mg-O/L	<0.5	<0.5	<0.5	0.7	0.5	0.6	<0.5	0.9	<0.5	<0.5	1.1	1.1	
	C O D	mg-O/L	2.0	2.2	1.9	2.3	1.9	2.7	2.4	1.8	1.7	1.8	1.9	3.0	6ppm以下
	S S	mg/L	<1.0	2.4	<1.0	<1.0	<1.0	2.5	1.5	9.1	1.6	1.4	1.4	2.8	100ppm以下
	全窒素	mg-N/L	7.1	7.6	7.1	6.8	7.5	7.9	7.3	8.0	9.2	9.3	8.6	9.7	1ppm以下
	全燐	mg-P/L	0.041	0.048	0.033	0.030	0.025	0.021	0.018	0.015	0.014	0.020	0.016	0.019	
健康項目等	カドミウム	mg/L	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	
	鉛	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	
	砒素	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	0.05ppm以下
	フェノール類	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	
	銅	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	0.02ppm以下
	亜鉛	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	0.5ppm以下
	溶解性鉄	mg/L	0.04	—	—	0.02	—	—	0.03	—	—	0.02	—	—	
	溶解性マンガン	mg/L	0.03	—	—	0.02	—	—	0.04	—	—	0.08	—	—	
	クロム含有量	mg/L	<0.02	—	—	<0.02	—	—	<0.02	—	—	<0.02	—	—	
	ふっ素	mg/L	0.21	—	—	0.18	—	—	0.43	—	—	0.33	—	—	
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	
	大腸菌群数(MPN)	MPN/100mL	120	—	—	54	—	—	40	—	—	140	—	—	
	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	
	硫酸イオン	mg/L	240	—	—	190	—	—	350	—	—	340	—	—	
	硬度	mg/L	260	—	—	180	—	—	330	—	—	300	—	—	

注：表中の「—」は調査を実施していないことを示す。



表 3-5-4(2) 水質調査結果 (No.2)

項目名		単位	4月19日	5月23日	6月7日	7月8日	8月3日	9月12日	10月21日	11月2日	12月12日	1月6日	2月1日	3月14日	農業用水基準
外観			殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	
気温		℃	19.5	29.0	23.0	26.5	33.5	28.5	22.5	15.5	9.0	9.2	8.5	10.5	
水温		℃	16.0	20.5	19.2	21.8	23.5	23.5	19.0	15.0	10.5	9.5	8.8	11.8	
流量		m <sup>3</sup> /分	3.0	2.9	3.3	3.5	3.9	4.0	3.2	2.0	2.9	3.0	1.8	2.9	
生活環境項目等	p H		7.6	7.9	7.8	7.5	7.8	7.5	8.3	7.8	7.7	7.7	7.9	7.5	6.0～7.5
	B O D	mg-O/L	<0.5	<0.5	<0.5	0.6	0.5	0.6	1.0	0.9	<0.5	<0.5	5.0	0.9	
	C O D	mg-O/L	1.9	2.3	2.0	3.1	3.2	2.6	5.5	2.1	1.5	2.4	4.9	3.2	6ppm以下
	S S	mg/L	1.7	1.9	1.7	1.3	1.6	1.2	3.1	2.1	1.2	<1.0	1.3	2.0	100ppm以下
	全窒素	mg-N/L	7.0	7.8	7.7	6.8	7.5	7.8	8.6	8.7	10	10	13	9.9	1ppm以下
	全磷	mg-P/L	0.041	0.043	0.048	0.030	0.032	0.021	0.027	0.012	0.014	0.016	0.017	0.019	
健康項目等	カドミウム	mg/L	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	
	鉛	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	
	砒素	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	0.05ppm以下
	フェノール類	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	
	銅	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	0.02ppm以下
	亜鉛	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	0.5ppm以下
	溶解性鉄	mg/L	0.05	—	—	0.03	—	—	0.05	—	—	0.03	—	—	
	溶解性マンガン	mg/L	0.04	—	—	0.02	—	—	0.06	—	—	0.07	—	—	
	クロム含有量	mg/L	<0.02	—	—	<0.02	—	—	<0.02	—	—	<0.02	—	—	
	ふっ素	mg/L	0.19	—	—	0.16	—	—	0.32	—	—	0.30	—	—	
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	
	大腸菌群数(MPN)	MPN/100mL	2800	—	—	280	—	—	1600	—	—	70	—	—	
	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	0.006	—	—	<0.005	—	—	
	硫酸イオン	mg/L	210	—	—	170	—	—	230	—	—	290	—	—	
	硬度	mg/L	250	—	—	180	—	—	270	—	—	280	—	—	

注：表中の「—」は調査を実施していないことを示す。

表 3-5-4 (3) 水質調査結果 (No.3)

項目名		単位	5月23日	8月3日	11月2日	2月1日	農業用水基準
外観			殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	
気温		℃	29.5	33.5	15.5	8.5	
水温		℃	20.9	23.5	14.6	7.5	
流量		m <sup>3</sup> /分	3.5	3.8	4.1	2.8	
生活環境項目等	p H		7.7	7.8	7.8	7.7	6.0～7.5
	B O D	mg-O/L	<0.5	<0.5	1.0	2.7	
	C O D	mg-O/L	2.8	2.9	3.2	3.7	6ppm以下
	S S	mg/L	1.1	<1.0	<1.0	<1.0	100ppm以下
	全窒素	mg-N/L	7.8	7.6	8.0	12	1ppm以下
	全磷	mg-P/L	0.034	0.030	0.016	0.013	

表 3-5-4(4) 水質調査結果 (No.4)

項目名		単位	4月19日	5月23日	6月7日	7月8日	8月3日	9月12日	10月21日	11月2日	12月12日	1月6日	2月1日	3月14日	農業用水基準
外観			殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	微混濁	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	
気温		℃	20.0	29.0	23.5	26.5	33.5	28.5	22.5	15.5	9.0	10.5	8.5	10.5	
水温		℃	15.2	19.2	19.0	21.9	23.5	22.5	18.0	14.2	8.8	8.6	7.0	11.3	
流量		m <sup>3</sup> /分	7.3	7.5	7.9	8.7	9.3	9.6	9.3	5.4	7.6	7.2	5.6	6.0	
生活環境項目等	p H		7.7	7.5	7.7	7.5	7.7	8.0	7.9	7.8	7.5	7.5	7.6	7.3	6.0～7.5
	B O D	mg-O/L	0.6	<0.5	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6	1.0	0.6	0.5	1.6	0.8	
	C O D	mg-O/L	1.9	2.8	2.5	2.5	3.0	2.9	3.2	2.6	2.2	2.2	3.0	3.1	6ppm以下
	S S	mg/L	1.3	<1.0	1.9	3.1	1.7	1.8	1.6	2.3	<1.0	1.1	1.4	1.2	100ppm以下
	全窒素	mg-N/L	5.7	5.7	5.1	5.6	5.8	5.6	5.5	5.8	6.7	7.0	7.6	6.8	1ppm以下
	全磷	mg-P/L	0.041	0.042	0.047	0.041	0.031	0.039	0.030	0.028	0.028	0.037	0.025	0.033	
健康項目等	カドミウム	mg/L	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	<0.0003	—	—	
	鉛	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	
	砒素	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	0.05ppm以下
	フェノール類	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	
	銅	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	0.02ppm以下
	亜鉛	mg/L	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	<0.01	—	—	0.5ppm以下
	溶解性鉄	mg/L	0.11	—	—	0.13	—	—	0.14	—	—	0.07	—	—	
	溶解性マンガン	mg/L	0.13	—	—	0.12	—	—	0.14	—	—	0.16	—	—	
	クロム含有量	mg/L	<0.02	—	—	<0.02	—	—	<0.02	—	—	<0.02	—	—	
	ふっ素	mg/L	0.11	—	—	0.09	—	—	0.14	—	—	0.13	—	—	
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	検出せず (<0.5)	—	—	
	大腸菌群数(MPN)	MPN/100mL	490	—	—	2200	—	—	2400	—	—	240	—	—	
	1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	<0.005	—	—	
	硫酸イオン	mg/L	90	—	—	74	—	—	120	—	—	150	—	—	
	硬度	mg/L	130	—	—	110	—	—	160	—	—	170	—	—	

注：表中の「—」は調査を実施していないことを示す。

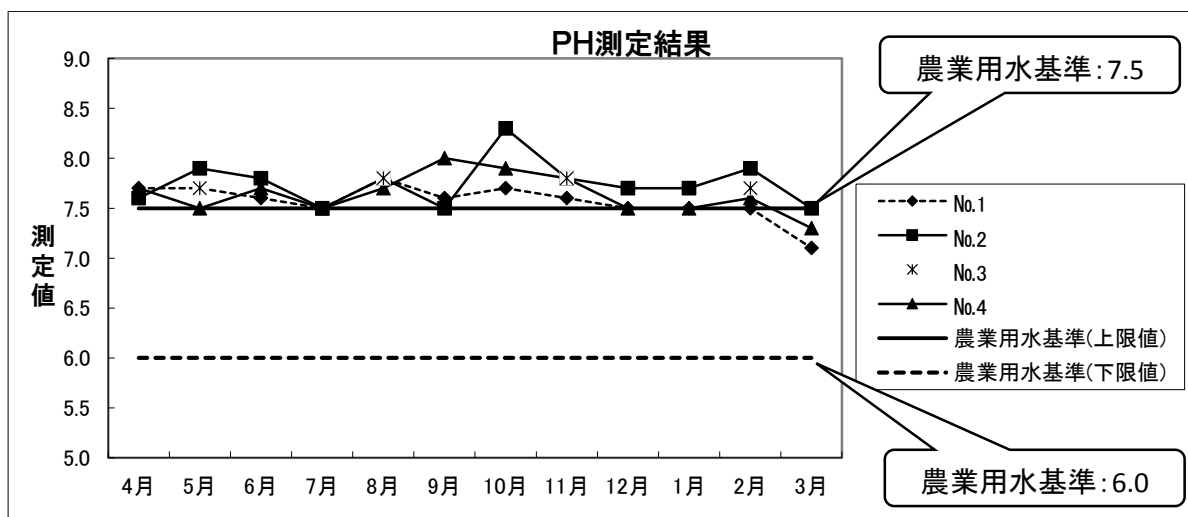


図 3-5-2 水質調査結果 (pH)

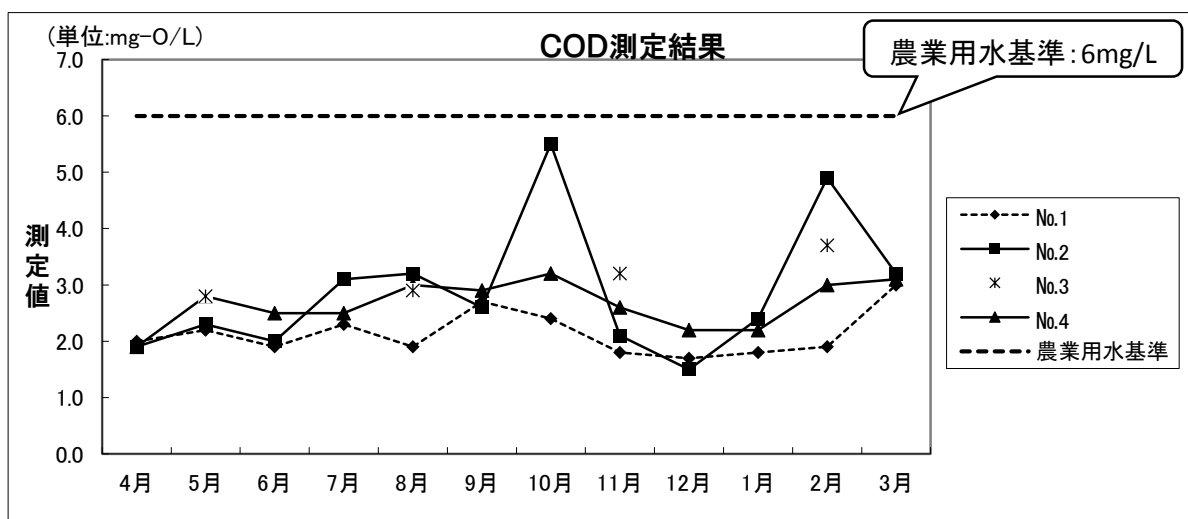


図 3-5-3 水質調査結果 (COD)

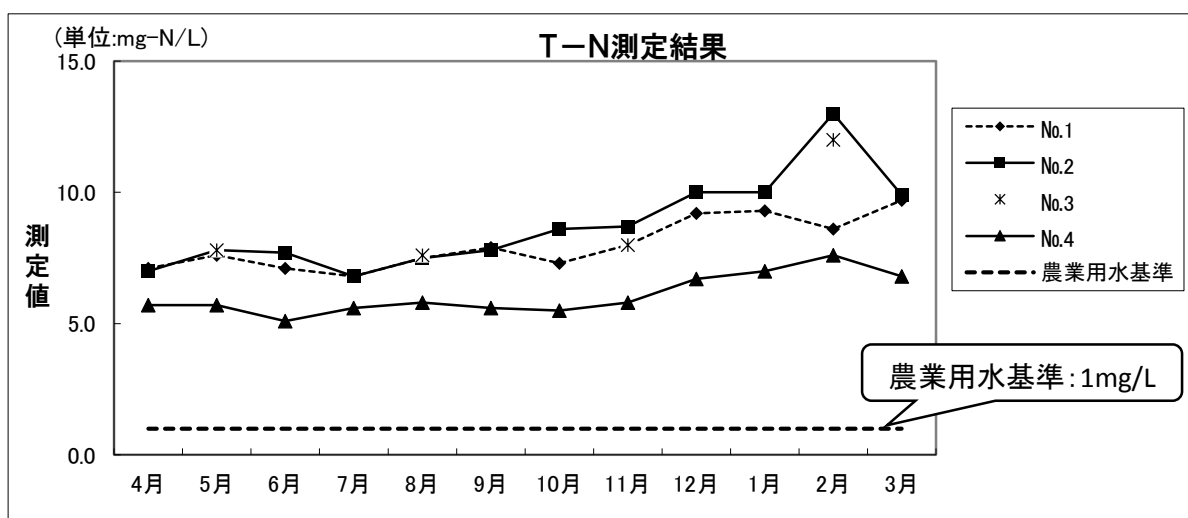


図 3-5-4 水質調査結果 (T-N)



## 2-2 環境ホルモン

環境ホルモンの調査結果は表 3-5-5 に示したとおりです。

環境ホルモンのうち、ダイオキシン類は 0.067～0.12pg-TEQ/L の範囲でした。

2 季の調査結果の算術平均（年平均値）は、No.1 では 0.080pg-TEQ/L、No.2 では 0.091pg-TEQ/L、No.3 では 0.090pg-TEQ/L、No.4 では 0.094pg-TEQ/L であり、平成 12 年 1 月から施行されたダイオキシン類対策特別措置法に基づく水質の汚染に係る環境基準（1pg-TEQ/L 以下：年間平均値）を満足していました。

ダイオキシン類以外の環境ホルモンでは、ビスフェノール A が No.4 で 0.16  $\mu$ g/L と検出されましたが、その他は全て定量下限値未満でした。

表 3-5-5 環境ホルモン調査結果

（ダイオキシン類単位：pg-TEQ/L、その他項目単位： $\mu$ g/L）

地点・調査時期 測定項目	No.1		No.2		No.3		No.4	
	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季
ダイオキシン類	0.080	0.079	0.11	0.071	0.11	0.070	0.12	0.067
（年平均値）	0.080		0.091		0.090		0.094	
ビスフェノール A	—	<0.01	—	<0.01	—	—	—	0.16
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	—	<0.5	—	<0.5	—	—	—	<0.5
フタル酸ジ-n-ブチル	—	<0.5	—	<0.5	—	—	—	<0.5
フタル酸ブチルベンジル	—	<0.2	—	<0.2	—	—	—	<0.2
フタル酸ジシクロヘキシル	—	<0.2	—	<0.2	—	—	—	<0.2
フタル酸ジエチル	—	<0.2	—	<0.2	—	—	—	<0.2
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	—	<0.01	—	<0.01	—	—	—	<0.01

注：ダイオキシン類の毒性等量（TEQ）は、「ダイオキシン類対策特別措置法」-H11.7.12（環境庁）に基づき算出した。  
（検出下限以上の値はそのまま用い、検出下限未満の値はその 1/2 を用いて算出した。）

河川中の環境ホルモンについて、表 3-5-6 には、今回の調査結果と昨年度（平成 27 年度）の調査結果とを比較しました。

その結果、ビスフェノール A は昨年度をやや上回る値でしたが、その他の項目は昨年度と同程度の値又は定量下限値未満でした。

また、今回の調査結果を三重県が実施している調査結果と比較すると、表 3-5-7 に示したとおり、ビスフェノール A 以外の項目は、三重県の調査結果の範囲内又は定量下限値未満でした。

表 3-5-6 昨年度（平成 27 年度）調査結果との比較

物質名	単 位	今年度の 事後調査結果	平成 27 年度の 事後調査結果
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.067～0.12	0.087～0.11
ビスフェノール A	μ g/L	<0.01～0.16	<0.01～0.02
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.5	<0.5
フタル酸ジ-n-ブチル	μ g/L	<0.5	<0.5
フタル酸ブチルベンジル	μ g/L	<0.2	<0.2
フタル酸ジシクロヘキシル	μ g/L	<0.2	<0.2
フタル酸ジエチル	μ g/L	<0.2	<0.2
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.01	<0.01

※：各地点の出現範囲。ダイオキシン類は各地点 2 季の算術平均の出現範囲。

表 3-5-7 三重県が実施した調査結果との比較

物質名	単 位	今年度の 事後調査結果※1	三重県が実施した 調査結果の範囲
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.067～0.12	0.020～1.1※2 (n=61)
ビスフェノール A	μ g/L	<0.01～0.16	<0.01～0.04※3 (n=9)
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.5	<0.5～0.9※3 (n=9)
フタル酸ジ-n-ブチル	μ g/L	<0.5	<0.5～0.6※3 (n=9)
フタル酸ブチルベンジル	μ g/L	<0.2	—
フタル酸ジシクロヘキシル	μ g/L	<0.2	—
フタル酸ジエチル	μ g/L	<0.2	—
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.01	—

※1：各地点の出現範囲。ダイオキシン類は各地点 2 季の算術平均の出現範囲。

※2：「平成 27 年度のダイオキシン類環境調査等結果」（三重県環境生活部大気・水環境課、平成 28 年 8 月 26 日）

※3：「平成 17 年版環境白書（三重県）」（以降最新データなし）

## 第 6 節 地下水の水質

### 第 1 項 地下水（モニター井戸）

#### 1-1 調査概要

最終処分場の供用を受け、同施設周辺の地下水の状況を把握するため、調査を実施しました。

##### 1-1-1 調査時期

調査は表 3-6-1 に示したとおり毎月実施しました。

また、環境基準項目と環境ホルモン（ダイオキシン類を含む）については、冬季（1 月）に 1 回実施しました。

表 3-6-1 調査時期

調査年月日
平成 28 年 4 月 12 日
平成 28 年 5 月 17 日
平成 28 年 6 月 15 日
平成 28 年 7 月 12 日
平成 28 年 8 月 10 日
平成 28 年 9 月 9 日
平成 28 年 10 月 14 日
平成 28 年 11 月 8 日
平成 28 年 12 月 8 日
平成 29 年 1 月 12 日
平成 29 年 2 月 7 日
平成 29 年 3 月 7 日

##### 1-1-2 調査地点

調査地点は、図 3-6-1 に示したモニター井No.A、No.B、No.C の 3 地点としました。

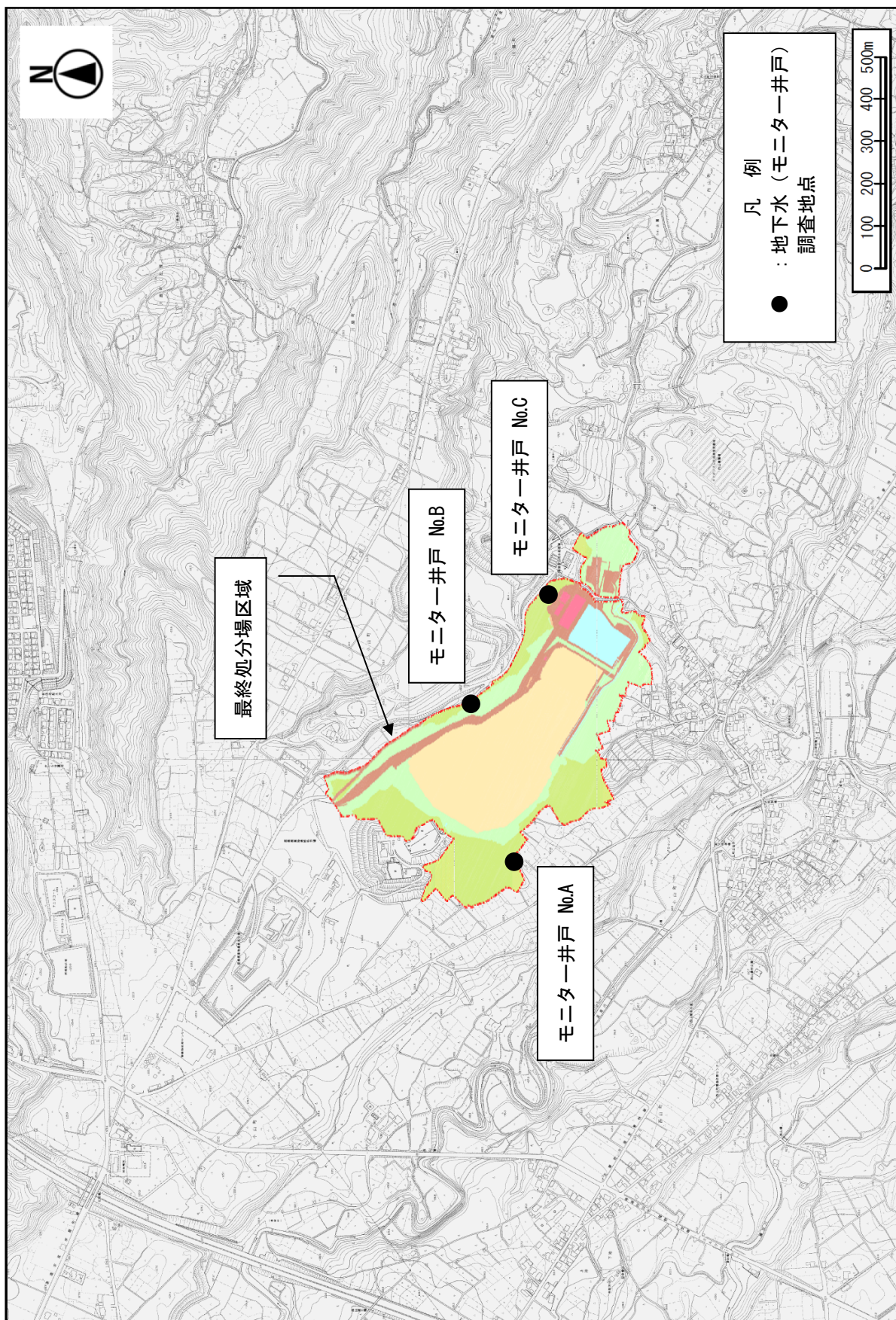


図 3-6-1 地下水 (モニタ一井戸) 調査地点

### 1-1-3 調査項目及び分析方法

調査項目は外観、水素イオン濃度（pH）、生物化学的酸素要求量（BOD）等の生活環境項目等 19 項目、カドミウム、全シアン等の環境基準項目 28 項目及びダイオキシン類を含む環境ホルモン 8 項目について調査を行いました。

調査項目及び分析方法は表 3-6-2 に示したとおりです。

表 3-6-2(1) 調査項目及び分析方法

	項 目	分析方法
生活環境項目等	外 観	JIS K 0102 8
	水素イオン濃度（pH）	JIS K 0102 12.1
	生物化学的酸素要求量（BOD）	JIS K 0102 21 及び 32.3
	化学的酸素要求量（COD-Mn）	JIS K 0102 17
	浮遊物質（SS）	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 9
	n-ヘキサン抽出物質	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 13
	大腸菌群数(MPN)	昭和 46 年環境庁告示第 59 号別表 2
	全窒素（T-N）	JIS K 0102 45.6
	全燐（T-P）	JIS K 0102 46.3.4
	電気伝導率	JIS K 0102 13
	硫酸イオン	JIS K 0102 41.3
	硬 度	JIS K 0101 15.1
	フェノール類	JIS K 0102 28.1
	銅	JIS K 0102 52.4
	亜 鉛	JIS K 0102 53.3
	溶解性鉄	JIS K 0102 57.4
	溶解性マンガン	JIS K 0102 56.4
	クロム含有量	JIS K 0102 65.1.4
	塩化物イオン	JIS K 0102 35.1



表 3-6-2(2) 調査項目及び分析方法

	項 目	分析方法
環境基準項目	カドミウム	JIS K 0102 55.4
	全シアン	JIS K 0102 38.1.2 及び 38.3
	鉛	JIS K 0102 54.3
	六価クロム	JIS K 0102 65.2.4
	砒 素	JIS K 0102 61.3
	総水銀	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 1
	アルキル水銀	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 2
	P C B	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 3
	ジクロロメタン	JIS K 0125 5.2
	四塩化炭素	JIS K 0125 5.2
	塩化ビニルモノマー	平成 9 年環境庁告示第 10 号付表
	1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
	1,1-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
	1,2-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
	1,1,1-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
	1,1,2-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
	トリクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
	テトラクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
	1,3-ジクロロプロペン	JIS K 0125 5.2
	チウラム	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 4
	シマジン	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 5 第 1
	チオベンカルブ	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 5 第 1
	ベンゼン	JIS K 0125 5.2
	セレン	JIS K 0102 67.3
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	JIS K 0102 43
	ほう素	JIS K 0102 47.3
	1,4-ジオキサン	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 7
	ふっ素	昭和 46 年環境庁告示第 59 号付表 6
環境ホルモン	ダイオキシン類	平成 11 年環境庁告示第 68 号
	ビスフェノール A	外因性内分泌攪乱化学物質 調査暫定マニュアル準拠 (平成 10 年 10 月)
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	
	フタル酸ジ-n-ブチル	
	フタル酸ブチルベンジル	
	フタル酸ジシクロヘキシル	
	フタル酸ジエチル	
	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	

## 1-2 調査結果

### 1-2-1 生活環境項目等、環境基準項目

調査結果のうち、主な項目を比較するため表 3-6-3 に、調査結果の詳細は表 3-6-4～6 に示しました。

その結果、全窒素、全リンについては、調査地点間で比較すると処分場上流側のNoA で高い傾向がみられました。

環境基準項目については、いずれも基準値を下回る値又は定量下限値未満の値でした。

表 3-6-3 主な項目の調査結果

項 目	単 位	NoA	NoB	NoC
外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明
気 温	℃	18.9 (5.0～32.5)	18.3 (5.0～32.5)	19.2 (5.0～32.5)
水 温	℃	16.4 (16.0～16.5)	16.9 (16.5～17.5)	16.4 (15.8～16.8)
p H	—	5.7 (5.6～5.9)	5.8 (5.7～6.2)	6.0 (5.9～6.3)
B O D	mg-O/L	<0.5	<0.5	<0.5
C O D (M n)	mg-O/L	<0.5	<0.5	<0.5
浮遊物質 (S S)	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0
全窒素	mg-N/L	9.2 (8.8～9.4)	7.5 (7.3～7.7)	5.2 (4.5～6.1)
全 磷	mg-P/L	0.011 (0.008～0.013)	0.005 (<0.003～0.007)	0.006 (0.004～0.008)
電気伝導率	mS/m	20 (18～22)	24 (22～26)	26 (25～27)
塩化物イオン	mg/L	16 (14～18)	17 (15～18)	21 (18～25)

※値は「平均値（最小値～最大値）」

### 1-2-2 環境ホルモン

ダイオキシン類については表 3-6-7 に、その他の項目については表 3-6-8 に示したとおりです。

ダイオキシン類は全地点とも 0.055pg-TEQ/L であり、平成 12 年 1 月から施行されたダイオキシン類対策特別措置法に基づく水質の汚染に係る環境基準（1pg-TEQ/L 以下：年間平均値）を満足していました。

その他の環境ホルモンは、全て定量下限値未満でした。

なお、ダイオキシン類について、今回の調査結果と昨年度（平成 27 年度）の調査結果を比較すると、表 3-6-9 に示したとおり、各地点とも昨年度と同程度の値でした。

また、三重県が実施した調査結果との比較では、表 3-6-10 に示したとおり、三重県の調査結果の範囲内でした。

表 3-6-4(1) 地下水調査結果 (No.A)

項 目		単 位	4月12日	5月17日	6月15日	7月12日	8月10日	9月9日	10月14日	11月8日	12月8日	1月12日	2月7日	3月7日	基準値
生活環境項目等	天 候	—	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	曇	晴	晴	雪	晴	—
	外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	—
	気 温	℃	14.0	21.0	29.7	29.0	32.5	30.5	20.0	16.5	12.0	7.0	5.0	9.5	—
	水 温	℃	16.0	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.5	16.0	16.0	16.2	—
	p H	—	5.6	5.6	5.6	5.7	5.9	5.6	5.8	5.9	5.8	5.9	5.6	5.8	—
	B O D	mg-O/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	C O D (M n)	mg-O/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	浮遊物質 (S S)	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	—
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	—
	フェノール類	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	銅	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	亜 鉛	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性鉄	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性マンガン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	クロム含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	—
	全窒素	mg-N/L	9.3	9.4	9.3	9.4	9.2	9.1	9.1	8.8	9.2	9.3	8.9	8.8	—
	全 磷	mg-P/L	0.009	0.012	0.011	0.013	0.011	0.012	0.008	0.011	0.011	0.013	0.011	0.009	—
	硬 度	mg/L	64	60	60	60	61	66	67	63	66	66	63	63	—
	電気伝導率	mS/m	20	20	20	20	22	20	19	19	19	20	18	18	—
	硫酸イオン	mg/L	23	23	23	23	23	23	22	22	23	22	22	25	—
	大腸菌群数 (M P N)	MPN/100mL	<2	<2	5	8	13	23	2	2	<2	<2	<2	2	—
	塩化物イオン	mg/L	17	17	16	16	18	17	17	16	16	16	16	14	—

表 3-6-4(2) 地下水調査結果 (No.A)

項 目		単 位	4月12日	5月17日	6月15日	7月12日	8月10日	9月9日	10月14日	11月8日	12月8日	1月12日	2月7日	3月7日	基準値
環境基準項目	ふっ素	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.7	—	—	10
	ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	1
	カドミウム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003
	全シアン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.1)	—	—	検出されないこと
	鉛	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01
	六価クロム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	0.05
	砒 素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01
	総水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.0005
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	P C B	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02
	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002
	塩化ビニルモノマー	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0004	—	—	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.1
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	1
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006
	トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01
	テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.01
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002
	チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006
	シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02
	ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01
	セレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.01
	1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.05

※：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（平成9年3月13日、環境庁告示第10号）

表 3-6-5(1) 地下水調査結果 (No.B)

項 目		単 位	4月12日	5月17日	6月15日	7月12日	8月10日	9月9日	10月14日	11月8日	12月8日	1月12日	2月7日	3月7日	基準値
生活環境項目等	天 候	—	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	曇	晴	晴	雪	晴	—
	外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	—
	気 温	℃	14.0	18.0	29.5	29.0	32.5	29.5	20.0	16.5	11.5	5.0	5.0	9.5	—
	水 温	℃	16.5	17.0	17.2	17.2	17.0	17.5	17.0	17.0	17.0	16.5	16.5	16.7	—
	p H	—	5.7	5.8	5.9	5.8	5.9	5.8	5.8	5.8	5.8	6.2	5.7	5.8	—
	B O D	mg-O/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	C O D (M n)	mg-O/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	浮遊物質 (S S)	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	—
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	—
	フェノール類	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	銅	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	亜 鉛	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性鉄	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性マンガン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	クロム含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	—
	全窒素	mg-N/L	7.4	7.4	7.4	7.3	7.6	7.4	7.6	7.5	7.7	7.6	7.6	7.4	—
	全 磷	mg-P/L	0.004	0.007	0.006	0.007	0.004	0.004	<0.003	0.005	0.005	0.004	<0.003	0.004	—
	硬 度	mg/L	40	34	32	33	33	33	35	35	35	34	33	34	—
	電気伝導率	mS/m	26	25	25	24	24	24	23	24	24	24	22	22	—
	硫酸イオン	mg/L	57	54	53	30	48	48	46	44	45	46	45	45	—
	大腸菌群数 (M P N)	MPN/100mL	<2	<2	2	23	<2	<2	<2	13	2	5	<2	<2	—
	塩化物イオン	mg/L	16	16	15	16	16	15	16	17	18	18	18	17	—

表 3-6-5(2) 地下水調査結果 (No.B)

項 目		単 位	4月12日	5月17日	6月15日	7月12日	8月10日	9月9日	10月14日	11月8日	12月8日	1月12日	2月7日	3月7日	基準値
環境基準項目	ふっ素	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.3	—	—	10
	ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.03	—	—	1
	カドミウム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003
	全シアン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.1)	—	—	検出されないこと
	鉛	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01
	六価クロム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	0.05
	砒 素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01
	総水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.0005
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	P C B	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02
	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002
	塩化ビニルモノマー	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0004	—	—	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.1
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	1
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006
	トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01
	テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.01
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002
	チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006
	シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02
	ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01
	セレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.01
	1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.05

※：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（平成9年3月13日、環境庁告示第10号）



表 3-6-6(1) 地下水調査結果 (No.C)

項 目		単 位	4月12日	5月17日	6月15日	7月12日	8月10日	9月9日	10月14日	11月8日	12月8日	1月12日	2月7日	3月7日	基準値
生活環境項目等	天 候	—	曇	晴	晴	曇	晴	晴	曇	曇	晴	晴	雪	晴	—
	外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	—
	気 温	℃	14.0	21.0	29.7	29.0	32.5	30.5	21.5	16.5	12.0	8.1	5.0	10.0	—
	水 温	℃	15.8	16.7	16.5	16.5	16.8	16.8	16.5	16.4	16.3	16.1	16.0	16.5	—
	p H	—	6.0	5.9	6.1	5.9	6.1	5.9	6.0	6.0	6.0	6.3	6.1	6.0	—
	B O D	mg-O/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	C O D (M n)	mg-O/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—
	浮遊物質 (S S)	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	—
	n-ヘキサン抽出物質	mg/L	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	検出せず (<0.5)	—
	フェノール類	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	銅	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	亜 鉛	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性鉄	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	溶解性マンガン	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—
	クロム含有量	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	—
	全窒素	mg-N/L	4.9	4.8	4.9	4.5	4.5	4.9	5.1	5.3	5.5	5.7	6.0	6.1	—
	全 磷	mg-P/L	0.005	0.006	0.008	0.008	0.006	0.004	0.004	0.006	0.007	0.006	0.005	0.005	—
	硬 度	mg/L	46	40	38	38	38	40	42	40	41	40	38	40	—
	電気伝導率	mS/m	27	26	26	26	25	26	25	25	25	25	25	25	—
	硫酸イオン	mg/L	50	48	49	48	47	47	47	46	48	47	47	47	—
	大腸菌群数 (M P N)	MPN/100mL	<2	<2	<2	33	<2	5	<2	<2	<2	<2	<2	<2	—
	塩化物イオン	mg/L	25	24	22	21	22	23	22	21	19	18	18	18	—

表 3-6-6(2) 地下水調査結果 (No.C)

項 目		単 位	4月12日	5月17日	6月15日	7月12日	8月10日	9月9日	10月14日	11月8日	12月8日	1月12日	2月7日	3月7日	基準値
環境基準項目	ふっ素	mg/L	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	0.8
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.6	—	—	10
	ほう素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	1
	カドミウム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003
	全シアン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.1)	—	—	検出されないこと
	鉛	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01
	六価クロム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.02	—	—	0.05
	砒 素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.01
	総水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.0005
	アルキル水銀	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	P C B	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
	ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02
	四塩化炭素	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002
	塩化ビニルモノマー	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002
	1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0004	—	—	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.1
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.004	—	—	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	1
	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006
	トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01
	テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0005	—	—	0.01
	1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002
	チウラム	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006
	シマジン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003
	チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.02
	ベンゼン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.001	—	—	0.01
	セレン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.002	—	—	0.01
	1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.005	—	—	0.05

※：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（平成9年3月13日、環境庁告示第10号）

表 3-6-7 ダイオキシン類調査結果

物質名	単位	No.A	No.B	No.C
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.055	0.055	0.055

注：ダイオキシン類の毒性等量(TEQ)は、「ダイオキシン類対策特別措置法」-H11.7.12(環境庁)に基づき算出した。(検出下限以上の値はそのまま用い、検出下限未満の値はその1/2を用いて算出した。)

表 3-6-8 その他の環境ホルモン調査結果

物質名	単位	No.A	No.B	No.C
ビスフェノールA	μg/L	<0.01	<0.01	<0.01
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	μg/L	<0.5	<0.5	<0.5
フタル酸ジ-n-ブチル	μg/L	<0.5	<0.5	<0.5
フタル酸ブチルベンジル	μg/L	<0.2	<0.2	<0.2
フタル酸ジシクロヘキシル	μg/L	<0.2	<0.2	<0.2
フタル酸ジエチル	μg/L	<0.2	<0.2	<0.2
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	μg/L	<0.01	<0.01	<0.01

表 3-6-9 昨年度（平成 27 年度）調査結果との比較

物質名	単位	今年度の 事後調査結果	平成 27 年度の 事後調査結果
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.055	0.056～0.057
ビスフェノールA	μg/L	<0.01	<0.01
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	μg/L	<0.5	<0.5
フタル酸ジ-n-ブチル	μg/L	<0.5	<0.5
フタル酸ブチルベンジル	μg/L	<0.2	<0.2
フタル酸ジシクロヘキシル	μg/L	<0.2	<0.2
フタル酸ジエチル	μg/L	<0.2	<0.2
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	μg/L	<0.01	<0.01

表 3-6-10 三重県が実施した調査結果との比較

物質名	単位	事後調査結果	三重県が実施した 調査結果(n=9)
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.055	0.021～0.074

注：三重県の調査結果は、「平成 27 年度のダイオキシン類環境調査等結果（環境生活部大気・水環境課、平成 28 年 8 月 26 日）」で、値は 9 地点の「最小値～最大値」。

第 2 項 地下水（処分場地下水集排水）

2-1 調査概要

最終処分場の供用を受け、処分場内に設置した地下水集排水管で集められた湧水等の水質の状況を把握するため、調査を実施しました。

2-1-1 調査地点

調査地点は図 3-6-2 に示したとおり、処分場地下水集排水口の 1 地点としました。

2-1-2 調査時期

調査は表 3-6-11 に示したとおり毎月実施しました。

なお、調査項目のうち、電気伝導率、塩化物イオンは毎月実施し、カドミウム、全シアン、鉛等 25 項目は冬季（1 月）に 1 回実施しました。

表 3-6-11 地下水集排水調査年月日

調査年月日
平成 28 年 4 月 12 日
平成 28 年 5 月 17 日
平成 28 年 6 月 15 日
平成 28 年 7 月 12 日
平成 28 年 8 月 10 日
平成 28 年 9 月 9 日
平成 28 年 10 月 14 日
平成 28 年 11 月 8 日
平成 28 年 12 月 8 日
平成 29 年 1 月 12 日
平成 29 年 2 月 7 日
平成 29 年 3 月 7 日

2-1-3 調査項目及び分析方法

調査項目及び分析方法は表 3-6-12 に示したとおりです。

表 3-6-12 調査項目及び分析方法

項 目	分析方法
電気伝導率	JIS K 0102 13
塩化物イオン	JIS K 0102 35.1
カドミウム	JIS K 0102 55.4
全シアン	JIS K 0102 38.1.2 及び 38.3
鉛	JIS K 0102 54.3
六価クロム	JIS K 0102 65.2.4
砒 素	JIS K 0102 61.3
総水銀	昭和 46 環告 59 号付表 1
アルキル水銀	昭和 46 環告 59 号付表 2
P C B	昭和 46 環告 59 号付表 3
ジクロロメタン	JIS K 0125 5.2
四塩化炭素	JIS K 0125 5.2
塩化ビニルモノマー	平成 9 年環告 10 号付表第 2
1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
1,1-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
1,2-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
1,1,1-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
1,1,2-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
トリクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
テトラクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
1,3-ジクロロプロペン	JIS K 0125 5.2
チウラム	昭和 46 環告 59 号付表 4
シマジン	昭和 46 環告 59 号付表 5 第 1
チオベンカルブ	昭和 46 環告 59 号付表 5 第 1
ベンゼン	JIS K 0125 5.2
セレン	JIS K 0102 67.3
1,4-ジオキサン	昭和 46 環告 59 号付表 7

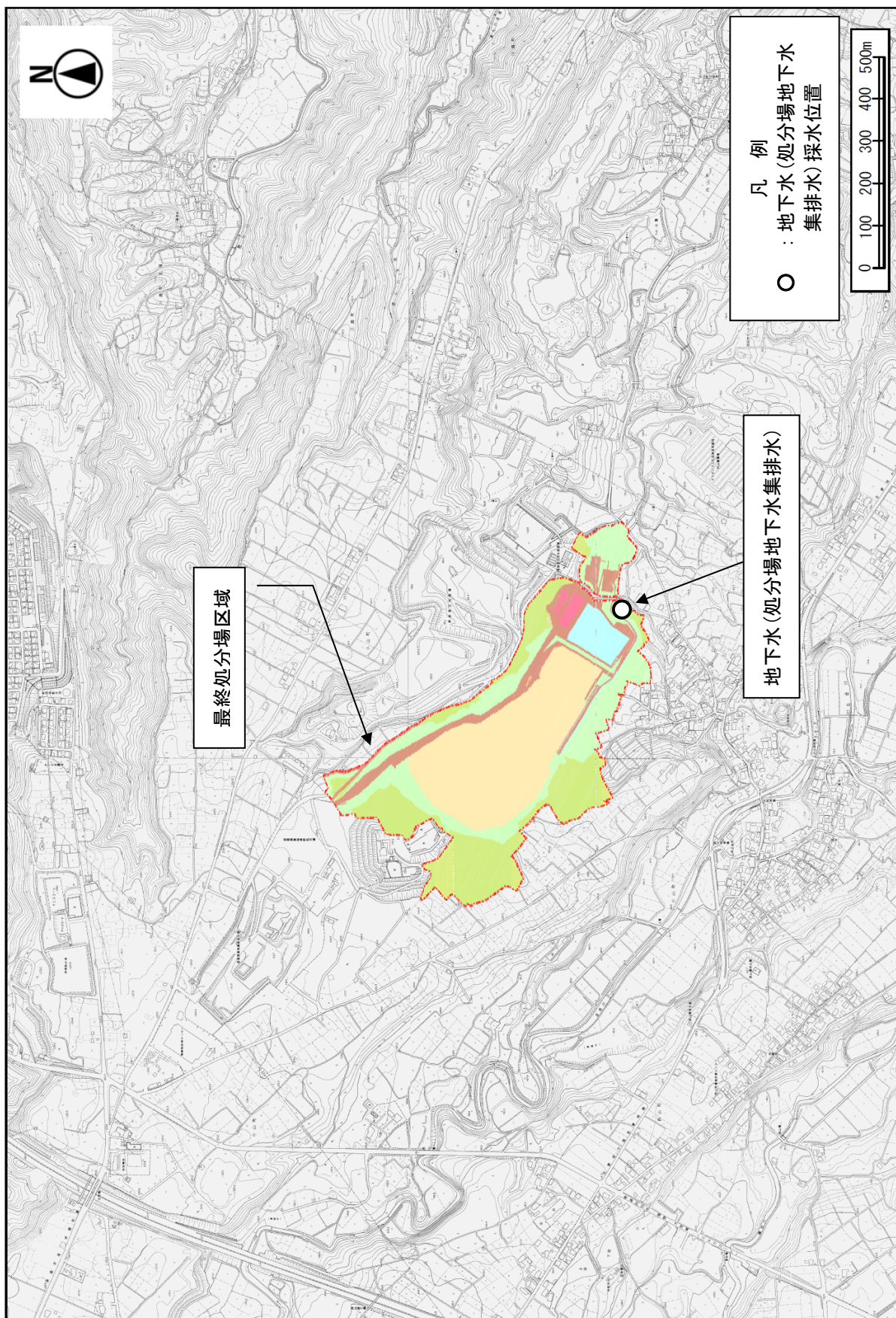


图 3-6-2 地下水 (処分場地下水集排水) 調査地点



## 2-2 調査結果

調査の結果は表 3-6-13 に示すとおり、毎月実施することとした項目の電気伝導率 19～22mS/m、塩化物イオンは 8.5～14mg/L、1 月に実施したその他の項目はいずれも定量下限値未満の値でした。

表 3-6-13(1) 地下水（処分場地下水集排水）調査結果

項 目	単 位	4月12日	5月17日	6月15日	7月12日	8月10日	9月9日	環境基準値※
電気伝導率	mS/m	21	22	21	21	20	21	—
塩化物イオン	mg/L	12	14	12	12	12	12	—

表 3-6-13(2) 地下水（処分場地下水集排水）調査結果

項 目	単 位	10月14日	11月8日	12月8日	1月12日	2月7日	3月7日	環境基準値※
電気伝導率	mS/m	20	20	20	19	19	19	—
塩化物イオン	mg/L	12	10	13	8.5	12	9.9	—
カドミウム	mg/L	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003
全シアン	mg/L	—	—	—	検出せず (<0.1)	—	—	検出されないこと
鉛	mg/L	—	—	—	<0.005	—	—	0.01
六価クロム	mg/L	—	—	—	<0.02	—	—	0.05
砒 素	mg/L	—	—	—	<0.005	—	—	0.01
総水銀	mg/L	—	—	—	<0.0005	—	—	0.0005
アルキル水銀	mg/L	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
P C B	mg/L	—	—	—	検出せず (<0.0005)	—	—	検出されないこと
ジクロロメタン	mg/L	—	—	—	<0.002	—	—	0.02
四塩化炭素	mg/L	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002
塩化ビニルモノマー	mg/L	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	—	—	—	<0.0004	—	—	0.004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.002	—	—	0.1
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.004	—	—	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	<0.0005	—	—	1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006
トリクロロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.001	—	—	0.01
テトラクロロエチレン	mg/L	—	—	—	<0.0005	—	—	0.01
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	—	—	—	<0.0002	—	—	0.002
チウラム	mg/L	—	—	—	<0.0006	—	—	0.006
シマジン	mg/L	—	—	—	<0.0003	—	—	0.003
チオベンカルブ	mg/L	—	—	—	<0.002	—	—	0.02
ベンゼン	mg/L	—	—	—	<0.001	—	—	0.01
セレン	mg/L	—	—	—	<0.002	—	—	0.01
1,4-ジオキサン	mg/L	—	—	—	<0.005	—	—	0.05

※：基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（平成 9 年 3 月 13 日、環境庁告示第 10 号）

## 第 7 節 浸出水処理水

### 第 1 項 調査概要

最終処分場の供用を受け、浸出水処理施設において浸出水が適切に処理されているかを確認するため、処理水の水質調査を実施しました。

#### 1-1 調査地点

調査地点は図 3-7-1 に示したとおり、浸出水処理施設の処理水 1 地点としました。

#### 1-2 調査時期

調査は表 3-7-1 に示したとおり毎月実施しました。

なお、調査項目のうち、pH、BOD、COD、アンモニア性窒素、硫酸イオン等 22 項目は毎月、ほう素、カドミウム、全シアン等 33 項目は冬季（1 月）に 1 回実施しました。

表 3-7-1 浸出水処理水調査年月日

調査年月日
平成 28 年 4 月 19 日
平成 28 年 5 月 23 日
平成 28 年 6 月 7 日
平成 28 年 7 月 8 日
平成 28 年 8 月 3 日
平成 28 年 9 月 12 日
平成 28 年 10 月 21 日
平成 28 年 11 月 2 日
平成 28 年 12 月 12 日
平成 29 年 1 月 6 日
平成 29 年 2 月 1 日
平成 29 年 3 月 14 日

#### 1-3 調査項目及び分析方法

調査項目及び分析方法は表 3-7-2 に示したとおりです。

表 3-7-2 浸出処理水調査項目及び分析方法

項 目	分析方法	項 目	分析方法
p H	JIS K 0102 12.1	総水銀	昭和 46 環告 59 号 付表 1
B O D	JIS K 0102 21 及び 32.3	アルキル水銀	昭和 46 環告 59 号 付表 2
C O D (M n)	JIS K 0102 17	P C B	昭和 46 環告 59 号 付表 3
浮遊物質 (S S)	昭和 46 環告 59 号 付表 9	セレン	JIS K 0102 67.3
フェノール類	JIS K 0102 28.1	1,4-ジオキサン	昭和 46 環告 59 号 付表 7
n-ヘキサン 抽出物質	昭和 49 環告 64 号 付表 4	ジクロロメタン	JIS K 0125 5.2
銅	JIS K 0102 52.4	四塩化炭素	JIS K 0125 5.2
亜鉛	JIS K 0102 53.3	1,2-ジクロロエタン	JIS K 0125 5.2
溶解性鉄	JIS K 0102 57.4	1,1-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
溶解性マンガン	JIS K 0102 56.4	シス-1,2-ジクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
全クロム	JIS K 0102 65.1.4	1,1,2-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
ふっ素	JIS K 0102 34.1	ベンゼン	JIS K 0125 5.2
大腸菌群数 (1cm <sup>3</sup> )	昭和 37 厚生省・ 建設省令第 1 号	トリクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
全窒素	JIS K 0102 45.1	テトラクロロエチレン	JIS K 0125 5.2
全 燐	JIS K 0102 46.3.4	1,1,1-トリクロロエタン	JIS K 0125 5.2
アンモニア性窒素	JIS K 0102 42.1 及び 42.3	1,3-ジクロロプロペン	JIS K 0125 5.2
亜硝酸性窒素	JIS K 0102 43.1.3	チウラム	昭和 46 環告 59 号 付表 4
硝酸性窒素	JIS K 0102 43.2.6	シマジン	昭和 46 環告 59 号 付表 5 第 1
有機態窒素	JIS K 0102 44.1 及び 44.3	チオベンカルブ	昭和 46 環告 59 号 付表 5 第 1
硫酸イオン	JIS K 0102 41.3	ダイオキシン類	平成 11 年環境庁告示 第 68 号
硬 度	JIS K 0101 15.1	ビスフェノール A	「外因性内分泌攪乱化 学物質調査暫定マニ ュアル」(平成 10 年 10 月)に準拠
電気伝導率	JIS K 0102 13	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	
ほう素	JIS K 0102 47.3	フタル酸ジ-n-ブチル	
カドミウム	JIS K 0102 55.3	フタル酸ブチルベンジル	
全シアン	JIS K 0102 38.1.2 及び 38.3	フタル酸ジシクロヘキシル	
鉛	JIS K 0102 54.3	フタル酸ジエチル	
六価クロム	JIS K 0102 65.2.4	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	
砒 素	JIS K 0102 61.3		

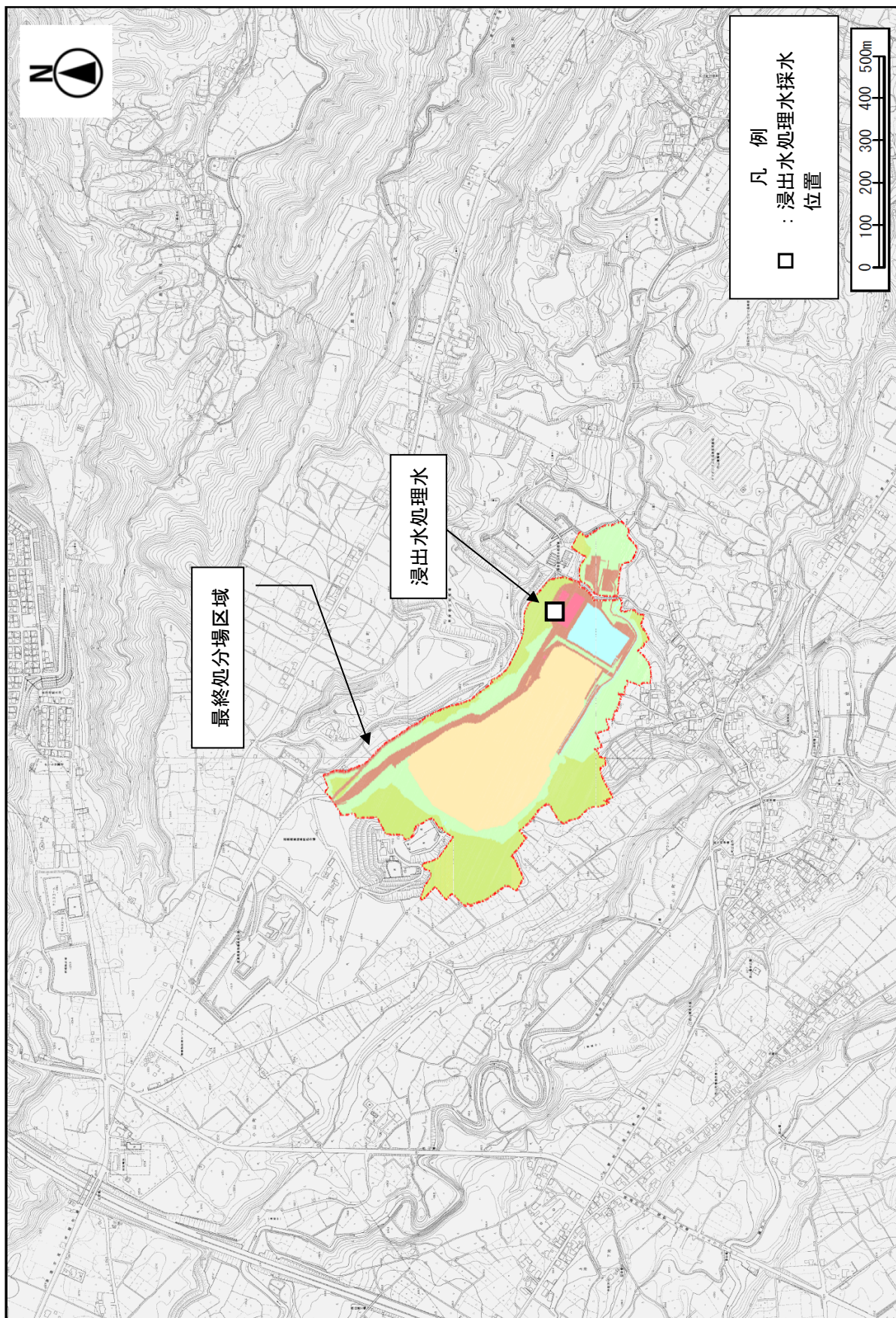


图 3-7-1 浸出水処理水調査地点

## 第2項 調査結果

調査結果のうち、毎月実施項目の結果概要を表3-7-3に示しました。

ダイオキシン類も含め基準値のある項目と管理基準値を設定している項目は、いずれも基準値及び管理基準値を下回る値又は定量下限値未満の値でした。

各月の調査結果の詳細は表3-7-4に示したとおりです。

表3-7-3 浸出水処理水調査結果概要（毎月実施項目）

項 目	単位	調査結果	基準値 <sup>注1)</sup>	管理基準値 <sup>注2)</sup>
外 観	—	殆ど透明	—	—
気 温	℃	18.7 (7.0～29.5)	—	—
水 温	℃	17.5 (9.0～26.3)	—	—
p H	—	7.3 (7.1～7.6)	5.8～8.6	6.0～8.5
B O D	mg-O/L	<0.5	60	5
C O D (Mn)	mg-O/L	4.2 (1.7～6.3)	90	10
浮遊物質 (S S)	mg/L	1.0 (<1.0～1.3)	60	5
フェノール類	mg/L	<0.1	5	—
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	鉱油類 5 動植物油脂類 30	—
銅	mg/L	<0.1	3	—
亜 鉛	mg/L	<0.1	2	—
溶解性鉄	mg/L	<0.5	10	—
溶解性マンガン	mg/L	<0.5	10	—
全クロム	mg/L	<0.05	2	—
ふっ素	mg/L	1.2 (0.9～1.5)	15	—
大腸菌群数 (1cm <sup>3</sup> )	個/cm <sup>3</sup>	0	日間平均 3,000	—
全窒素	mg-N/L	4.5 (3.3～5.7)	120 (日間平均 60)	10
全 磷	mg-P/L	0.02 (0.01～0.02)	16 (日間平均 8)	0.2
アンモニア性窒素	mg-N/L	<0.5	—	—
亜硝酸性窒素	mg-N/L	0.01 (<0.01～0.02)	—	—
硝酸性窒素	mg-N/L	3.5 (2.7～4.8)	—	—
有機態窒素 (計算値)	mg-N/L	1.0 (0.6～1.5)	—	—
硫酸イオン	mg/L	950 (690～1400)	—	—
硬 度	mg/L	900 (630～1200)	—	—
電気伝導率	mS/m	470 (320～650)	—	—

※：値は「平均値（最小値～最大値）」

注1：基準値は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」に基づく排水基準を表示。

注2：管理基準値は新小山最終処分場の浸出水処理施設の計画処理水質を表示。

表 3-7-4(1) 浸出水処理水調査結果（毎月実施項目）

項 目	単位	4月19日	5月23日	6月7日	7月8日	8月3日	9月12日	基準値 <sup>注1)</sup>	管理基準値 <sup>注2)</sup>
天 候	—	晴	晴	曇	曇	晴	曇	—	—
外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	—	—
気 温	℃	19.5	29.5	23.5	27.0	28.5	29.5	—	—
水 温	℃	14.5	20.2	20.0	24.0	25.8	26.3	—	—
p H	—	7.2	7.3	7.3	7.6	7.4	7.4	5.8～8.6	6.0～8.5
B O D	mg-O/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	60	5
C O D (M n)	mg-O/L	6.3	2.7	4.3	4.2	5.8	1.7	90	10
浮遊物質 (S S)	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	60	5
フェノール類	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	5	—
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	鉱油類5 動植物油脂類30	—
銅	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	3	—
亜鉛	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	2	—
溶解性鉄	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10	—
溶解性マンガン	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10	—
全クロム	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	2	—
ふっ素	mg/L	1.5	1.0	1.1	1.0	1.1	1.4	15	—
大腸菌群数 (1cm <sup>3</sup> )	個/cm <sup>3</sup>	0	0	0	0	0	0	日間平均3,000	—
全窒素	mg-N/L	4.5	3.9	4.8	4.0	5.7	5.5	120 (日間平均60)	10
全 燐	mg-P/L	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	16 (日間平均8)	0.2
アンモニア性窒素	mg-N/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—	—
亜硝酸性窒素	mg-N/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.02	<0.01	—	—
硝酸性窒素	mg-N/L	3.1	2.9	3.3	2.7	4.3	4.8	—	—
有機態窒素 (計算値)	mg-N/L	1.4	1.0	1.5	1.3	1.4	0.7	—	—
硫酸イオン	mg/L	1100	700	830	700	1000	1300	—	—
硬 度	mg/L	1200	650	730	680	930	1200	—	—
電気伝導率	mS/m	550	320	410	370	480	650	—	—

注1：基準値は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」に基づく排水基準を表示。

注2：管理基準値は新小山最終処分場の浸出水処理施設の計画処理水質を表示。



表 3-7-4(2) 浸出水処理水調査結果（毎月実施項目）

項 目	単位	10月21日	11月2日	12月12日	1月6日	2月1日	3月14日	基準値 <sup>注1)</sup>	管理基準値 <sup>注2)</sup>
天 候	—	晴	曇	晴	晴	曇	晴	—	—
外 観	—	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	殆ど透明	—	—
気 温	℃	19.0	14.0	8.5	7.0	8.5	10.0	—	—
水 温	℃	21.3	17.9	11.3	9.0	9.3	10.2	—	—
p H	—	7.4	7.4	7.2	7.3	7.3	7.1	5.8～8.6	6.0～8.5
B O D	mg-O/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	60	5
C O D (M n)	mg-O/L	3.7	3.0	3.5	4.3	6.1	4.3	90	10
浮遊物質 (S S)	mg/L	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	1.3	<1.0	60	5
フェノール類	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	5	—
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	鉱油類5 動植物油脂類30	—
銅	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	3	—
亜鉛	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	2	—
溶解性鉄	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10	—
溶解性マンガン	mg/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	10	—
全クロム	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	2	—
ふっ素	mg/L	1.5	1.1	1.0	0.9	1.5	1.0	15	—
大腸菌群数 (1cm <sup>3</sup> )	個/cm <sup>3</sup>	0	0	0	0	0	0	日間平均3,000	—
全窒素	mg-N/L	5.6	3.5	3.7	3.3	5.1	4.1	120 (日間平均60)	10
全 燐	mg-P/L	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	16 (日間平均8)	0.2
アンモニア性窒素	mg-N/L	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	—	—
亜硝酸性窒素	mg-N/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	—
硝酸性窒素	mg-N/L	4.7	2.7	2.7	2.7	4.5	3.3	—	—
有機態窒素 (計算値)	mg-N/L	0.9	0.8	1.0	0.6	0.6	0.8	—	—
硫酸イオン	mg/L	1200	690	830	690	1400	980	—	—
硬 度	mg/L	1200	630	780	700	1200	880	—	—
電気伝導率	mS/m	600	350	400	360	620	500	—	—

注1：基準値は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」に基づく排水基準を表示。

注2：管理基準値は新小山最終処分場の浸出水処理施設の計画処理水質を表示。

表 3-7-4(3) 浸出水処理水調査結果（年 1 回実施項目）

項 目	単位	1月6日	基準値 <sup>注1)</sup>	管理基準値 <sup>注2)</sup>
ほう素	mg/L	1.0	50	—
カドミウム	mg/L	<0.003	0.03	—
全シアン	mg/L	<0.1	1	—
鉛	mg/L	<0.01	0.1	—
六価クロム	mg/L	<0.05	0.5	—
砒 素	mg/L	<0.01	0.1	—
総水銀	mg/L	<0.0005	0.005	—
アルキル水銀	mg/L	検出せず (<0.0005)	検出されないこと (<0.005)	—
P C B	mg/L	<0.0005	0.003	—
セレン	mg/L	<0.01	0.1	—
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.05	0.5	—
ジクロロメタン	mg/L	<0.02	0.2	—
四塩化炭素	mg/L	<0.002	0.02	—
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.004	0.04	—
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.02	1	—
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.04	0.4	—
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	<0.006	0.06	—
ベンゼン	mg/L	<0.01	0.1	—
トリクロロエチレン	mg/L	<0.01	0.1	—
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.01	0.1	—
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.3	3	—
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.002	0.02	—
チウラム	mg/L	<0.006	0.06	—
シマジン	mg/L	<0.003	0.03	—
チオベンカルブ	mg/L	<0.02	0.2	—
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.000012	10 <sup>注3)</sup>	—
ビスフェノールA	μ g/L	<0.01	—	—
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.5	—	—
フタル酸ジ-n-ブチル	μ g/L	<0.5	—	—
フタル酸ブチルベンジル	μ g/L	<0.2	—	—
フタル酸ジシクロヘキシル	μ g/L	<0.2	—	—
フタル酸ジエチル	μ g/L	<0.2	—	—
アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	μ g/L	<0.01	—	—

注 1：基準値は「一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令」に基づく排水基準を表示。なお、平成 28 年 9 月 15 日よりトリクロロエチレンの基準値が 0.3mg/L から 0.1mg/L に変更された。

注 2：管理基準値は新小山最終処分場の浸出水処理施設の計画処理水質を表示。

注 3：ダイオキシン類の基準値は「ダイオキシン類対策特別措置法に基づく廃棄物の最終処分場の維持管理の基準を定める省令」（最終改正：平成 12 年 8 月 14 日総厚令第 3 号）に定める維持管理基準を表示。